

# 住環境における高齢者の安全等に関する調査 報告書

消費者庁新未来創造戦略本部

令和5年3月

## 目次

1. はじめに .....	1
2. 調査の概要 .....	3
2-1. インターネットアンケート調査 .....	3
(1) 調査方法 .....	3
(2) 回答者の基本情報 .....	3
2-2. 徳島県消費者協会における調査 .....	5
(1) 調査方法 .....	5
(2) 回答者の基本情報（アンケート） .....	5
3. 調査結果 .....	7
3-1. けがをした・しそうになった場所 .....	7
3-2. けがをした・しそうになった製品 .....	10
3-3. 自宅の設備の問題点、改善したい点 .....	12
3-4. 事故防止対策 .....	13
3-5. 自身の身体の変化について感じる事 .....	16
4. 調査結果のまとめ .....	17
5. おわりに .....	20
別添 1 アンケート調査票（ネットアンケート） .....	22
別添 2 アンケート調査票（消費者協会調査） .....	30
別添 3 単純集計結果（ネットアンケート） .....	34
別添 4 単純集計結果（消費者協会調査） .....	54

## 1. はじめに

令和4年版高齢社会白書<sup>1</sup>によると、令和3年10月1日現在の我が国の65歳以上人口は3621万人となり、総人口に占める割合（高齢化率）は28.9%である。今後も65歳以上人口は増加傾向が続くとされ、高齢者<sup>2</sup>をはじめ、誰もが健康で安全かつ安心して暮らせる社会であることが求められている。

平成30年度、消費者庁が厚生労働省「人口動態調査」の調査票情報を基に行った分析<sup>3</sup>では、交通事故、自然災害を除く不慮の事故で死亡した総死亡者のうち、高齢者の割合は8割以上となっており、増加傾向にあることが示されている。また、平成30年版高齢社会白書<sup>4</sup>では、65歳以上の高齢者の住宅内での事故発生件数は20歳以上65歳未満の人より多いことが挙げられている。そのほか、東京消防庁の救急搬送データ<sup>5</sup>によると、救急搬送の半数以上は高齢者であり、平成29年から令和3年までの5年間に39万人以上の高齢者が、日常生活上の事故により救急車で医療機関へ搬送されている。初診時程度別では、4割以上が入院の必要がある中等症以上と診断されており、その割合は、高齢になるにつれて増加していることも記されている。これらのことから、慣れ親しんでいる住宅にも多くの危険が潜んでおり、特に65歳以上の高齢者は、若年者に比較して住宅での事故が多いと言える。身体・認知機能の変化等が事故につながるおそれもあり、高齢者の住環境における事故を未然に防止することが求められている。

住宅等での高齢者の事故に関する行政機関等の取組を表1に示す。

---

<sup>1</sup> 内閣府「令和4年版高齢社会白書」[https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2022/html/zenbun/sl\\_1\\_1.html](https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2022/html/zenbun/sl_1_1.html)（令和5年3月22日最終閲覧）

<sup>2</sup> 「高齢者」についての明確な定義はないが、内閣府「令和4年版高齢社会白書」では、65歳以上75歳未満、75歳以上に分けて記載されていることから、本報告書では65歳以上の者を高齢者として取り扱う。

<sup>3</sup> 消費者庁「高齢者の事故の状況について―「人口動態調査」調査票情報及び「救急搬送データ」分析―」[https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer\\_safety/caution/caution\\_009/pdf/caution\\_009\\_180912\\_0002.pdf](https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/caution/caution_009/pdf/caution_009_180912_0002.pdf)（令和5年3月22日最終閲覧）

<sup>4</sup> 内閣府「平成30年版高齢社会白書」[https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2018/html/zenbun/sl\\_2\\_4.html](https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2018/html/zenbun/sl_2_4.html)（令和5年3月22日最終閲覧）

<sup>5</sup> 東京消防庁「救急搬送データからみる高齢者の事故～日常生活での高齢者の事故を防ぐために～」<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/lfe/topics/nichijou/kkhansoudeta.html>（令和5年3月22日最終閲覧）

表 1 行政機関等の取組

消費者庁	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者への注意喚起情報の発出 特に年末年始には、浴室での溺水事故、餅による窒息事故、掃除中などの転倒・転落事故について注意喚起をする等、高齢者の安全に関する取組を継続的に実施<sup>6</sup>。</li> <li>・「医療機関ネットワーク事業」<sup>7</sup> 平成 22 年 12 月から、独立行政法人国民生活センターと共同で実施、医療機関から事故情報の提供を受ける。 参画医療機関から提供された事故情報は、消費者庁（又は国民生活センター）で集計・分析し、再発防止のため注意喚起に活用。</li> </ul>
独立行政法人 国民生活 センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見守り情報の発出 「高齢者・障がい者」に関わる悪質商法や製品による事故情報等を発出。イラストが入ったリーフレット版は、啓発用資料として活用できるほか、高齢者・障がい者本人や見守る方を対象としたメールマガジン「見守り新鮮情報」<sup>8</sup>で情報発信。</li> </ul>
経済産業省	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「高齢者製品事故防止に関するハンドブック」<sup>9</sup> 高齢者の身体機能・認知機能の基礎情報が掲載されており、製品を選択・使用する高齢者自身やその周辺のケアラー向けに、高齢者が安全に生活するための製品選びのポイント等の情報を提供。</li> </ul>
独立行政法人 製品評価技術 基盤機構 (NITE)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「高齢者の事故防止対策報告書」<sup>10</sup> 高齢者の重篤な事故を防ぐために、製品の特徴や事故状況などを踏まえたリスク分析を実施し、分析結果から導き出したリスク低減策や事故防止対策を取りまとめ。</li> </ul>
東京都	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 28 年度「シニア世代における一人及び二人暮らしの身の回りの危険」<sup>11</sup> (平成 29 年 9 月公表) 70 歳以上の一人及び二人暮らしの都民を見守る家族等を対象に、高齢者における日常生活の危害及びヒヤリ・ハット経験について調査。</li> </ul>

<sup>6</sup> 消費者庁「年末年始に増加する高齢者の事故に注意しましょう！—浴室での溺水事故、餅による窒息事故、掃除中・除雪中の転倒・転落事故等に注意—」[https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer\\_safety/caution/caution\\_067/](https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/caution/caution_067/)（令和 5 年 3 月 22 日最終閲覧）

<sup>7</sup> 消費者庁「医療機関ネットワーク事業とは？」[https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer\\_safety/centralization\\_of\\_accident\\_information/pdf/consumer\\_safety\\_cms205\\_20200415\\_01.pdf](https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/centralization_of_accident_information/pdf/consumer_safety_cms205_20200415_01.pdf)（令和 5 年 3 月 22 日最終閲覧）

<sup>8</sup> 独立行政法人国民生活センター「見守り新鮮情報 一覧」[https://www.kokusen.go.jp/mimamori/mj\\_mglist.html](https://www.kokusen.go.jp/mimamori/mj_mglist.html)（令和 5 年 3 月 22 日最終閲覧）

<sup>9</sup> 経済産業省「高齢者製品事故防止に関するハンドブック」<https://www.meti.go.jp/press/2019/03/20200325002/20200325002-1.pdf>（令和 5 年 3 月 22 日最終閲覧）

<sup>10</sup> 独立行政法人製品評価技術基盤機構「高齢者の事故防止対策報告書」<https://www.nite.go.jp/jiko/report/risk/index.html>（令和 5 年 3 月 22 日最終閲覧）

<sup>11</sup> 東京都生活文化スポーツ局消費生活部「高齢者の家庭内事故防止見守りガイド」を作成！一人及び二人暮らしの高齢者の見守りについて調査しました」[https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/anzen/hiyarihat/senior\\_mimamori.html](https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/anzen/hiyarihat/senior_mimamori.html)（令和 5 年 3 月 22 日最終閲覧）

統計情報等からは、医療機関への受診を要する重篤なけがに至った事故件数等を把握することができる。一方、東京都の調査<sup>11</sup>から、医療機関の受診に至らなかったけがや、けがには至らなかった事案等、件数として計上されない事故も存在することが推察される。また、加齢に伴い身体機能等が変化することで、長年居住する自宅であっても不便な点が生じる可能性があり、それによって事故が引き起こされることも考えられる。若年者に比べて在宅時間が長いと考えられる高齢者にとって、自宅での事故の危険は、できる限り取り除かれていることが望ましい。

各行政機関等が発出する高齢者の事故防止に関する情報を踏まえ、本調査では、高齢者の住環境での事故経験や対策への意識等を把握することを目的として、高齢者本人を対象とし、けがには至らなかった経験も含めて、高齢者本人が認識している自身の事故経験や事故に対する意識、住環境の現状等について調査した。アンケートやヒアリングを通じて、事故が起きた時の状況等、詳細な情報の収集を試みた。既存の情報と本調査で得た結果から、高齢者本人やその家族等に注意を促すべき内容について整理する。

## 2. 調査の概要

### 2-1. インターネットアンケート調査

#### (1) 調査方法

医療機関の受診に至らないけがを含め、高齢者自身の住環境でのけがの経験等を把握するため、全国の高齢者を対象としたインターネットアンケート調査（以下「ネットアンケート」）を実施した。調査概要については、表2のとおりである。

表2 調査概要（ネットアンケート）

調査期間	令和4年9月9日（金）～令和4年9月12日（月）
調査対象者	65歳以上かつ同じ住宅に10年以上居住している者
回答者数	800人
割り付け	年齢（65歳以上69歳以下、70歳以上74歳以下、75歳以上の3区分）、性別（男女の2区分）、居住地域（東京23区・大阪市・名古屋市、左記以外の地域の2区分）にて均等に割り付け

#### (2) 回答者の基本情報

ネットアンケート回答者の基本情報の概要は、以下のとおりである。なお、表2に記した割り付けに使用した情報（年齢、性別、居住地域）については記載を省略する。

##### ①居住年数、住宅形態

現在の住宅の居住年数は、「10年以上20年未満」（37.4%）が最も多い。また、「30年以上」居住している人は32.4%である（図1）。

住宅の形態は、「持家（一戸建て）」（62.4%）が最も多く、次いで「持家（分譲マンション等の集合住宅）」（29.5%）が多い（図2）。

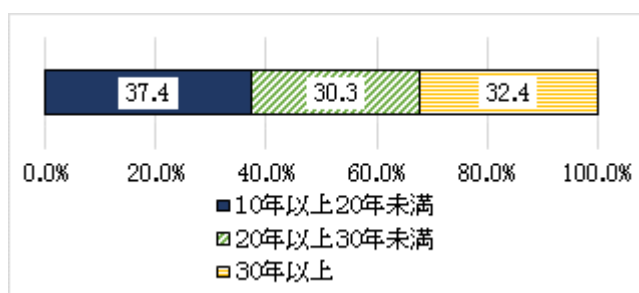


図1 現在の住宅の居住年数【N=800】

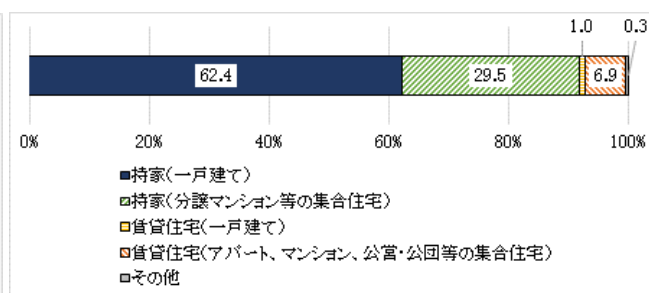


図2 住宅の形態【N=800】

## ②同居する家族の人数及びその内訳

同じ住宅に居住する家族の人数（回答者も含む）について、「2人」（58.0%）が最も多く、次いで「1人」（20.1%）が多い（図3）。また、その内訳は、「配偶者・パートナー」（71.9%）が最も多く、次いで「子（子の配偶者・パートナーを含む）」（22.4%）が多い。「同居者はいない」と回答した人は、19.5%である（図4）。

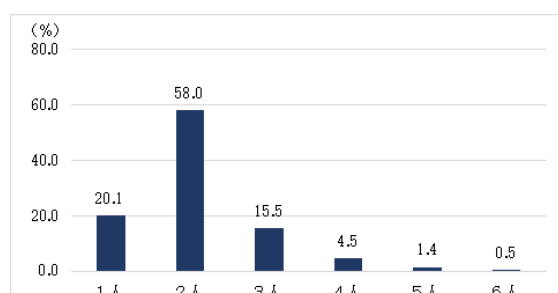


図3 同じ住宅に居住する家族の人数（回答者を含む）【N=800】

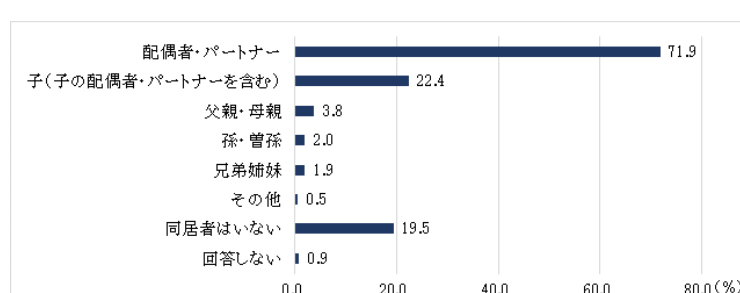


図4 同じ住宅に居住する家族の内訳（複数回答）【N=800】

## 2-2. 徳島県消費者協会における調査

### (1) 調査方法

ネットアンケートにて全体の傾向を捉えた後、個々のけが等の経験の詳細を把握するため、徳島県消費者協会の協力を得て、消費者協会会員へのアンケート及びヒアリング（以下「消費者協会調査」）を行った。調査概要については、表3のとおりである。

表3 調査概要（消費者協会調査（アンケート））

調査手法	県下4地区（西部・東部・南部・北部）で開催された「令和4年度 消費者のつどい」にて、アンケート調査票を配付
調査票配付期間	令和4年11月12日（土）、15日（火）、17日（木）、18日（金） （各地区「消費者のつどい」開催日）
調査対象者	徳島県内の各地区消費者協会会員（各地区「消費者のつどい」出席者）
回収方法	1週間程度の回答期間を設け、返信用封筒にて郵送回収 （一部は配付当日に直接回収）
配付数及び回答数	配付数380部、回答数184部（回収率48.4%） （うち65歳以上は171部）

※ヒアリングは、アンケートを補完するものとして、消費者協会会員計30名を対象に実施した。

### (2) 回答者の基本情報（アンケート）

消費者協会調査のうち、アンケート回答者の基本情報は以下のとおりである。なお、集計はアンケートにて65歳以上と回答した人のみ行った。

#### ①居住年数、住宅形態

同じ住宅に「10年以上」居住している人は、全体の9割を占めており、「30年以上」（46.8%）が最も多い（図5）。

また、全体の95.3%が「持家（一戸建て）」に居住している（図6）。

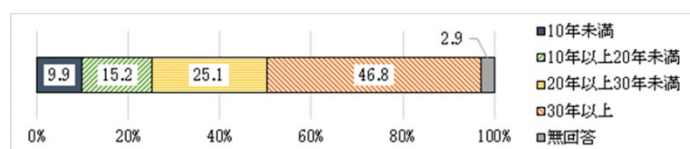


図5 現在の住宅の居住年数【N=171】

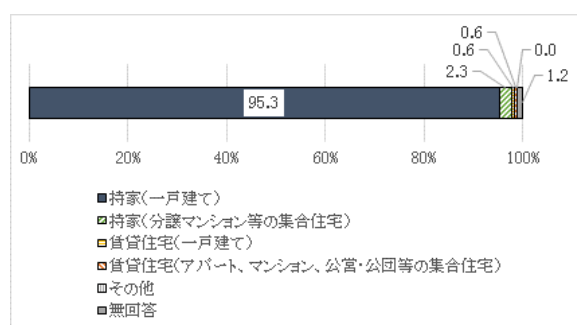


図6 住宅の形態【N=171】

## ②年齢及び性別

年齢は、半数以上が75歳以上（53.8%）である（図7）。また、女性が94.7%を占める（図8）。

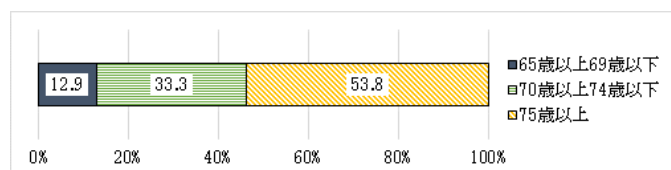


図7 年齢【N=171】

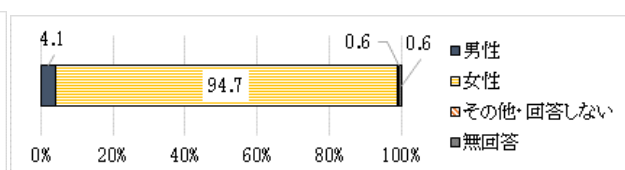


図8 性別【N=171】

## ③同居する家族の人数及び内訳

同居する家族の人数は、「2人」（44.4%）が最も多く、次いで「1人」（23.4%）が多い（図9）。また、「配偶者・パートナー」（61.4%）と居住する人が最も多く、次いで「子（子の配偶者・パートナーを含む）」（32.7%）、「同居している人はいない」（22.8%）が多い（図10）。

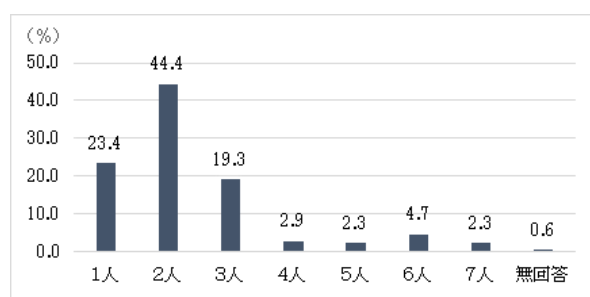


図9 同居する家族の人数  
（本人を含む）【N=171】

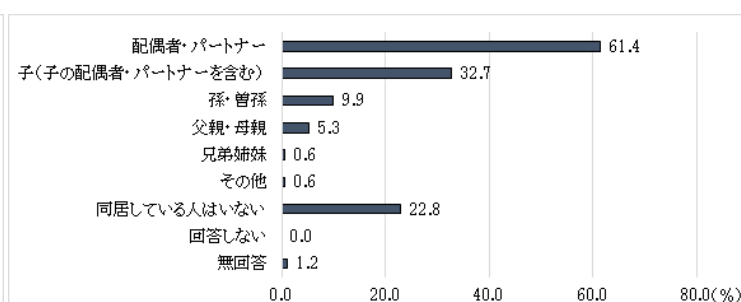


図10 同居する家族の内訳（複数回答）【N=171】



### 3. 調査結果

#### 3-1. けがをした・しそうになった場所

##### ①ネットアンケート

ネットアンケートの結果では、自宅でけがをした・しそうになった経験は、全体的に少なかった。

けがをした・しそうになった人のうち、最も多い場所は「階段」(72人)、次いで「風呂場・脱衣所・洗面所・トイレ」(48人)、「庭(ベランダを含む)・駐車場」(45人)が続く(図11)。

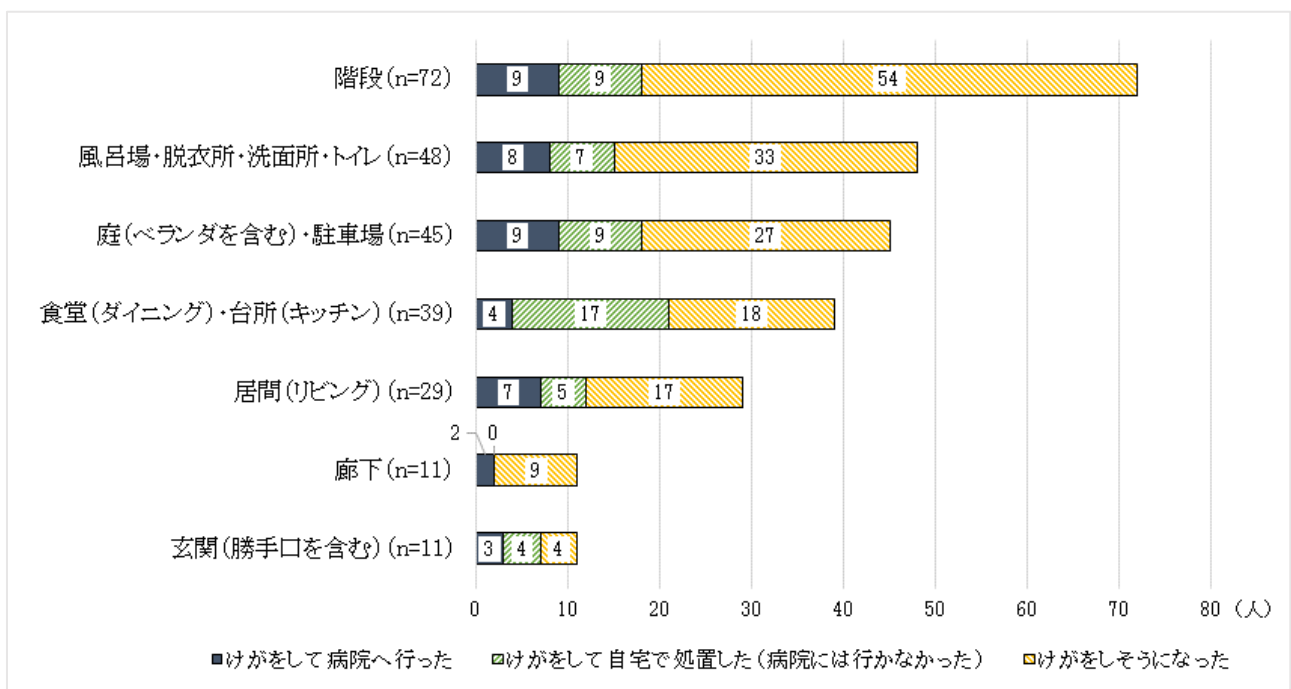


図11 けがをした・しそうになった経験(場所別)(ネットアンケート)【N=800】

けがをした・しそうになった経験の詳細について、場所として最も多い「階段」では、「段差で足を踏み外した」(38人)が最も多く、次いで「転んだ、つまずいた、すべった」(19人)が多い(図12)。「風呂場・脱衣所・洗面所・トイレ」及び「庭(ベランダを含む)・駐車場」での経験については、「転んだ、つまずいた、すべった」が最も多い(30人、26人)。

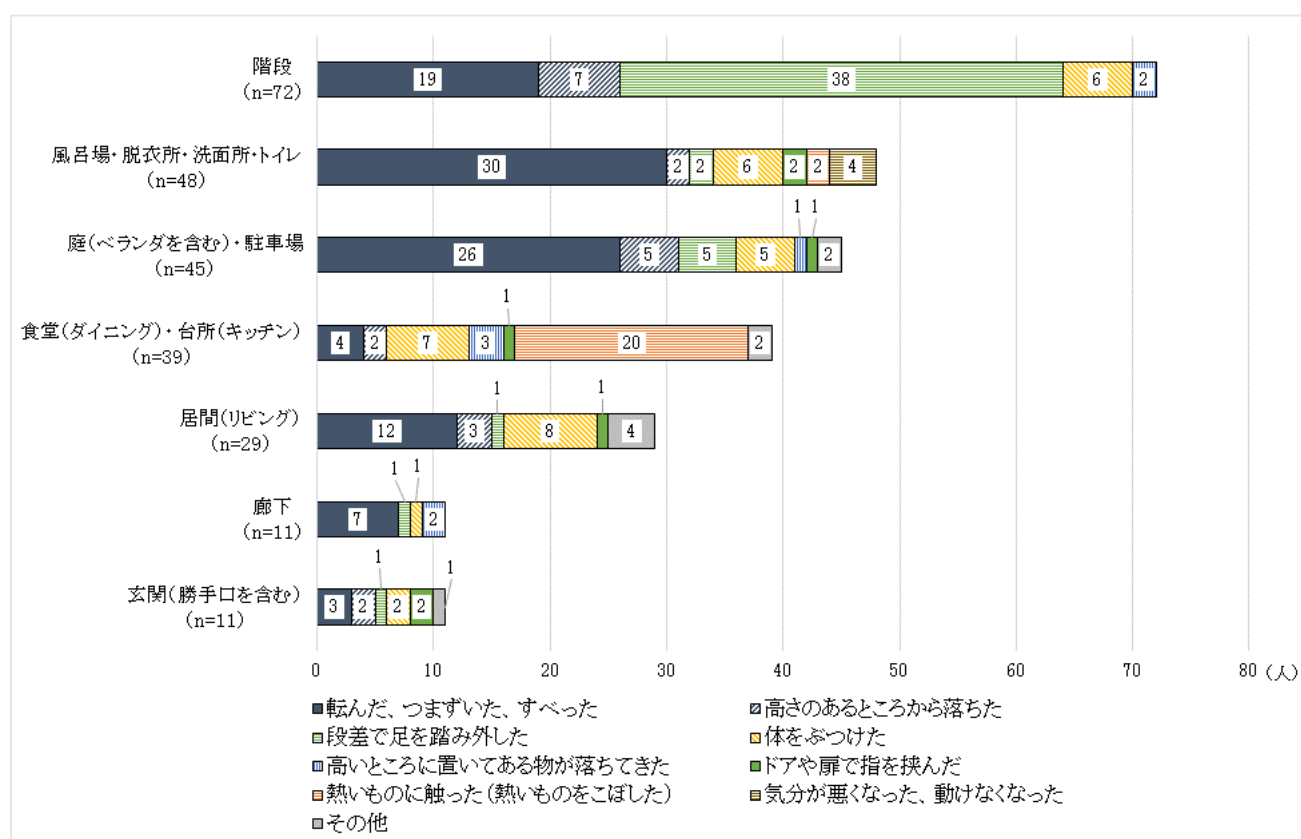


図12 けがをした・しそうになった経験(場所別)の詳細(ネットアンケート)【N=800】

## ②消費者協会調査

消費者協会調査の結果では、全体の 25.7%が自宅でけがをした・しそうになった経験があると回答している（図 13）。けがをした・しそうになった場所では、「階段」（29.5%）が最も多く、「玄関（勝手口を含む）」（22.7%）、「庭（ベランダを含む）・駐車場」（18.2%）と続く（図 14）。

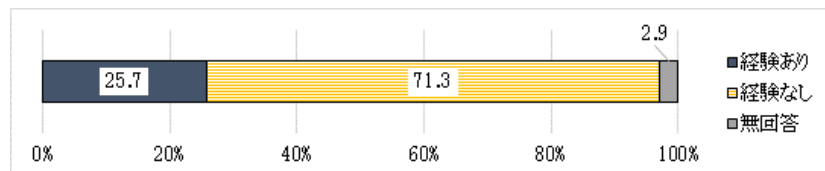


図 13 過去5年以内に自宅でけがをした・しそうになった経験  
（消費者協会調査）【N=171】

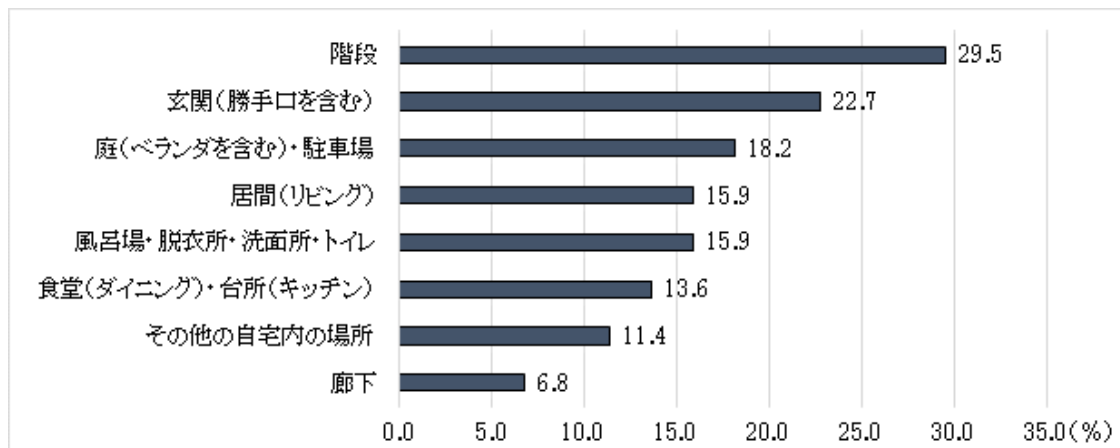


図 14 けがをした・しそうになった場所（複数回答）（消費者協会調査）【N=44】

### ○「階段」でけがをした・しそうになった経験の詳細（一部抜粋）

- ・階段を下りきったと思って一步踏み出したところ、もう一段残っていて、落ちそうになった。
- ・階段を上がろうとした時にバランスを崩し、3段目から転落して骨折した。
- ・階段の掃除中に足を踏み外し、鎖骨を骨折した。治るまで数か月かかった。

### ○「玄関」でけがをした・しそうになった経験の詳細（一部抜粋）

- ・玄関から外に出ようとした時、段を踏み外した。
- ・玄関の上がり <sup>かまち</sup> 框 でスリッパを脱ごうとした時、前に転んだ。
- ・玄関の段差でつまずいて足を捻挫し、一時的に松葉杖を使って歩いていた。

### 3-2. けがをした・しそうになった製品

#### ①ネットアンケート

ネットアンケートの結果では、製品を使用している際にけがをした・しそうになった経験は、全体的に少なかった。

けがをした・しそうになった経験がある人のうち、最も多い製品は「脚立・踏み台」(72人)、次いで「敷物(カーペット・玄関マット・キッチンマット等)※電気カーペットを除く」(33人)、「こんろ(ガス・電気)」(24人)が続く(図15)。

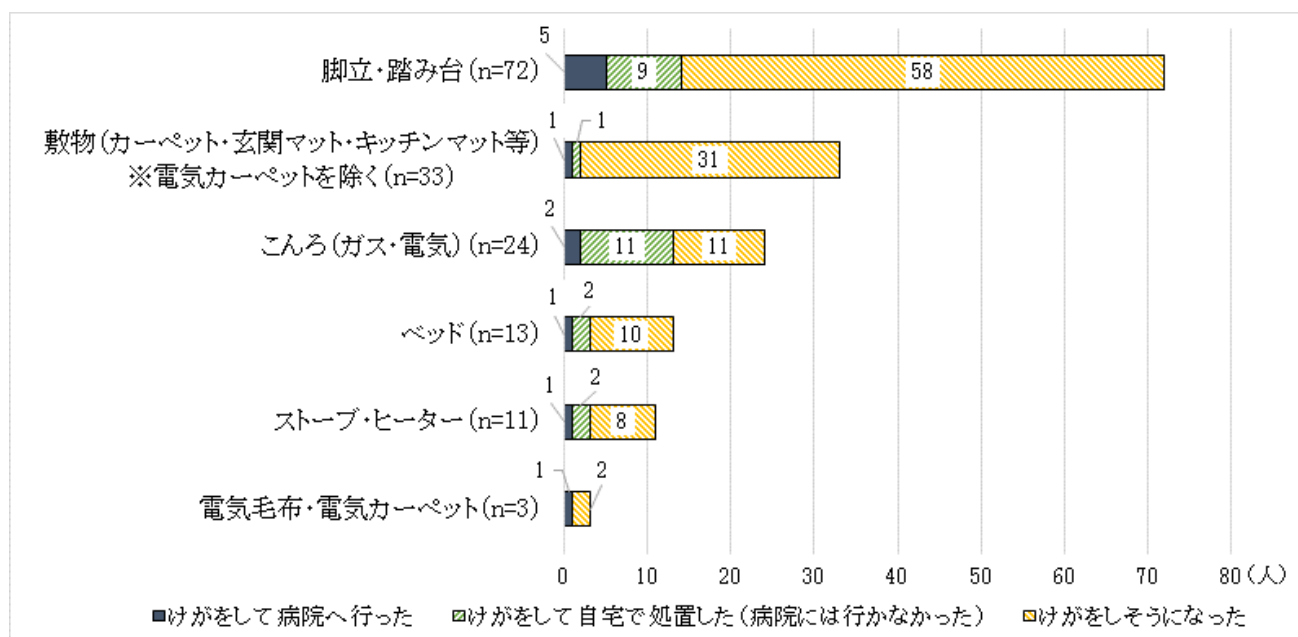


図15 けがをした・しそうになった経験（製品）（ネットアンケート）【N=800】

けがをした・しそうになった経験がある人が多い「脚立・踏み台」で起こったことの詳細については、「高さのあるところから落ちた」(26人)が最も多く、次いで「段差で足を踏み外した」(21人)が多い(図16)。

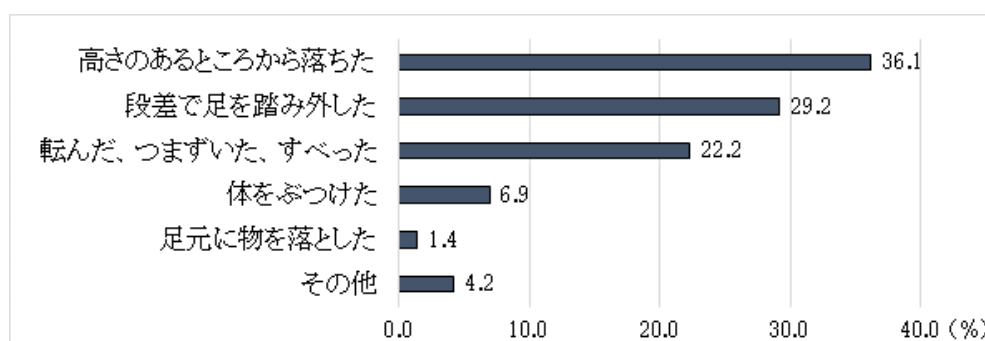


図16 「脚立・踏み台」でけがをした・しそうになった経験の詳細（ネットアンケート）【N=72】

## ②消費者協会調査

消費者協会調査では、けがをした・しそうになった経験（製品）についての問は設けていなかったが、自由記述での回答にて、製品に関連するけがの経験等についての内容がみられた。ネットアンケートの回答で多く挙げた「脚立・踏み台」や、「履物」に関連する回答があった。

### ○「脚立・踏み台」でけがをした・しそうになった経験の詳細（一部抜粋）

- ・新聞紙を敷いた上に脚立を立てて作業をしており、降りる際に脚立がすべって落ちた。
- ・年末に正月準備をしている際、脚立の下から２段目から足を踏み外して落下した。

### ○「履物」でけがをした・しそうになった経験の詳細（一部抜粋）

- ・スリッパを履いていて、外の水道のある所ですべった。
- ・勝手口から家の中へ入ろうとした時、サンダルがきちんと脱げずにつまずき、壁で顔を打撲した。

### 3-3. 自宅の設備の問題点、改善したい点

#### ①ネットアンケート

ネットアンケートの結果では、自宅の設備について、「問題がある、改善したいと感じている点はない」(59.8%) 人が半数以上を占める。問題がある、改善したい点については、「浴室や脱衣所が寒い」(18.5%) と回答した人が最も多く、次いで「部屋や廊下との境界に段差がある」(14.9%)、「階段や廊下、浴室に手すりがない」(10.3%)、「浴槽や浴室の床がすべりやすい」(7.1%)、「浴槽の高さが高く、入りにくい」(5.8%)、「床や畳がすべりやすい」(2.9%)、「その他」(2.6%) と続く (図 17)。

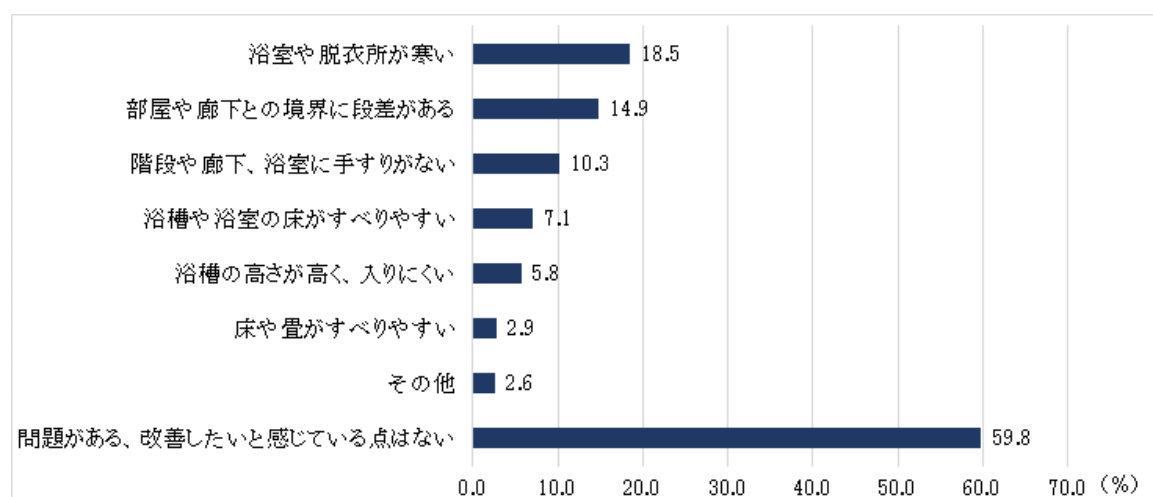


図 17 自宅の設備の問題点、改善したい点 (複数回答) (ネットアンケート) 【N=800】

#### ②消費者協会調査

消費者協会調査では、自宅の設備の問題点、改善したい点について、アンケートでは自由記述での回答を求めたところ、95 人が何らかの回答を記載しており (「特になし」、「今のところない」等は除く)、そのうち 64 人が転倒・転落事故に関係し得る内容を記載していた。

#### ○自宅の設備の問題点、改善点についての詳細 (一部抜粋)

- ・廊下に段差がある。
- ・階段に明かりが少ない。
- ・家が古く、段差が多く危険。
- ・玄関の階段に手すりがなく、危険。
- ・リフォームをしているが、小さな段差で転びそうになることがある。

### ３－４．事故防止対策

#### ①ネットアンケート

ネットアンケートの結果では、自宅で利用している事故防止に関する設備や製品、サービスについては、「浴室や脱衣所の暖房器具」(28.9%) が最も多く、次いで「歩行や立ち座りを補助する手すり」(22.9%)、「足元を照らす照明器具」(19.9%)、「火を使わない電気調理器 (IH 調理器等)」(19.9%) が多い。一方で、「特に利用している設備や製品、サービスはない」と回答している人は 36.4%である（図 18）。



図 18 自宅で利用している、事故防止に関する設備や製品、サービス（複数回答）  
（ネットアンケート）【N=800】

けがを防ぐために行っていることとして、「よくしている」及び「ときどきしている」を合わせたもので最も多いのは、「動ける範囲で、こまめに体を動かすようにしている。」(76.0%)である。次いで、「製品を買ったときは、取扱説明書を読んでから使用している。」(68.9%)が多い(図 19)。

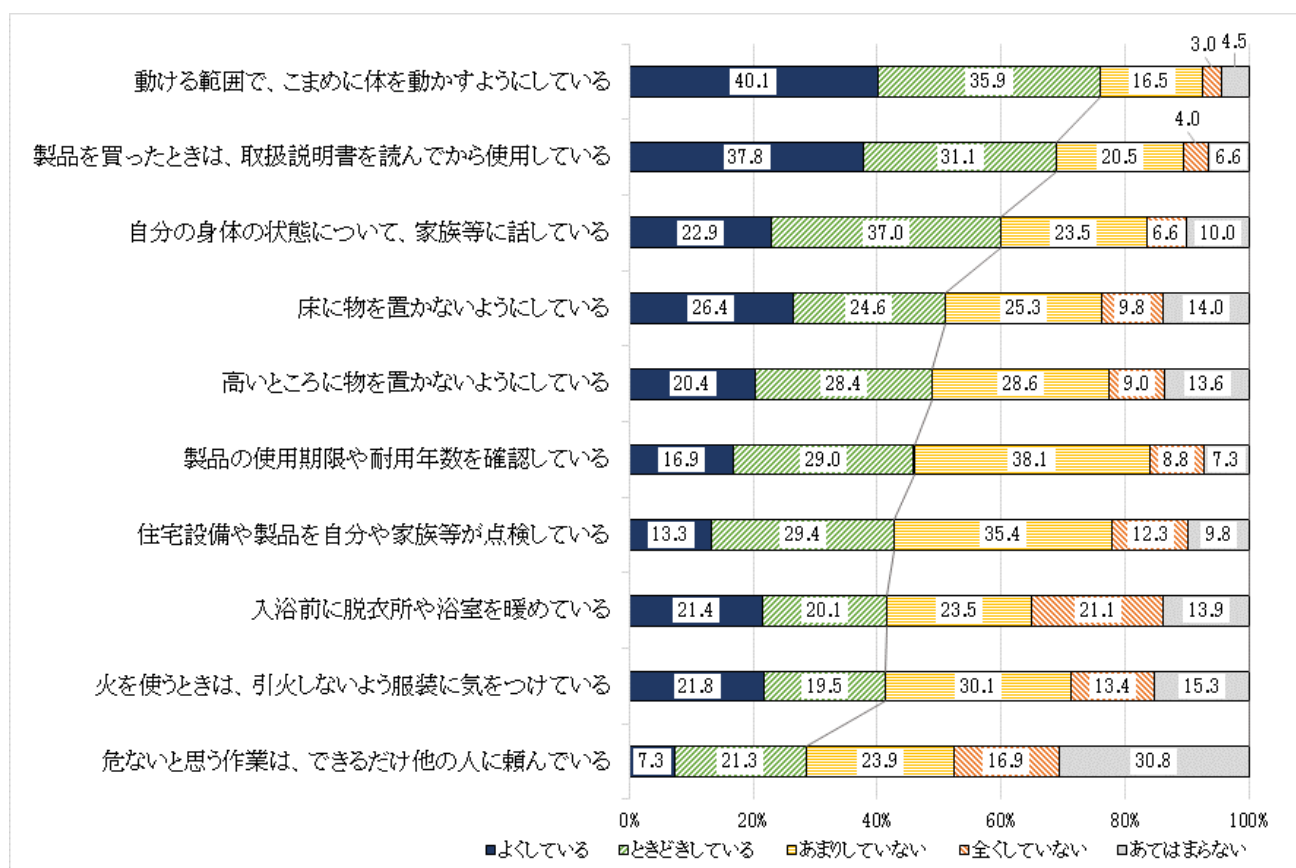


図 19 けがを防ぐために行っていること（ネットアンケート）【N=800】



## ②消費者協会調査

消費者協会調査でも同様に、けがをしないように既に対策していること、日頃から気をつけていることについてアンケート及びヒアリングにて質問したところ、主に転倒・転落の対策について、けがをしないように環境を整備している内容がみられた。また、行動する際の心掛けに関する内容や、けがをしにくい体づくりに取り組むという内容もみられた。

### ○事故防止対策についての詳細（一部抜粋）

- ・トイレ、浴室に手すりをつけている。
- ・玄関先に低い踏み台を置き、履物を履きやすくしている。
- ・就寝時に足元を照らす照明を取り付けている。
- ・裏側に滑り止めが施されているスリッパに買い替えた。
- ・部屋の中を整理して、物を置かないようにしている。
- ・慌てずに行動するように心がけている。
- ・歩く時は足を上げるようにする。
- ・足腰が衰えないように、できるだけ運動するようにしている。
- ・ウォーキング等の運動で足腰を鍛える。

### 3-5. 自身の身体の変化について感じる事

#### ①ネットアンケート

ネットアンケートの結果では、「この中で特に変化を感じることはない」人は13.0%であり、全体の8割以上の人々が、以前と比べて自身の身体について何らかの変化があったと感じている。「小さな文字は老眼鏡がなければ見づらくなった」(61.5%)人が最も多く、次いで「暗い場所では物が見づらくなった」(40.9%)、「重いものを持つことが苦手になった」(34.8%)が多い(図20)。

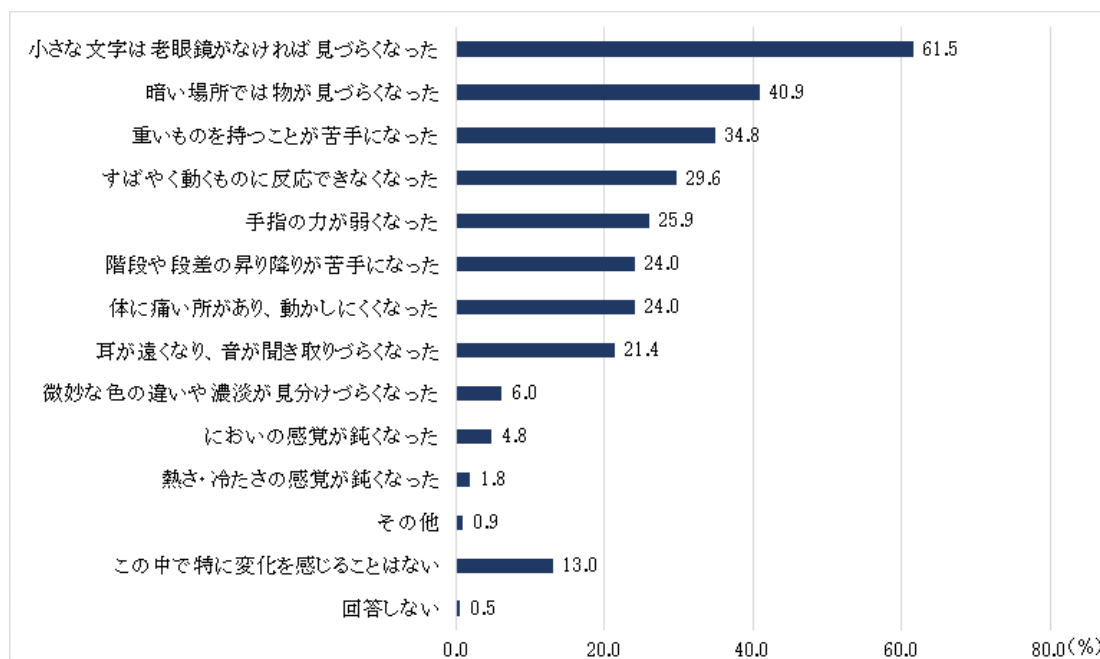


図20 自身の身体の変化について感じる事(複数回答)(ネットアンケート)【N=800】

#### ②消費者協会調査

消費者協会調査では、自身の身体の変化について感じる事を自由記述で回答を求めたところ、148人(全体の86.5%)が何らかの回答を記載しており(「特になし」、「ない」等は除く)、ネットアンケートと同様の結果が得られた。視覚に関する内容は56人、体の痛みや動かしくさに関する内容は119人が記載していた。

#### ○自身の身体の変化について感じる事の詳細(一部抜粋)

- ・老眼が強くなってきた。
- ・小さな字が見づらい。
- ・腰が痛くなり、正座ができなくなった。
- ・左肩が痛く、エプロンの紐が結べない。

#### 4. 調査結果のまとめ

既存の情報とネットアンケート及び消費者協会調査の結果から、経験した人が多い「転倒・転落」及び事故が起こると重篤な症状となりやすい「溺水」を、高齢者本人やその家族等の支援者に注意を促すべき内容として整理し、その対策等について記載する。

##### ①転倒・転落

ネットアンケートの結果では、けがをした・しそうな場所では、「階段」や「庭（ベランダを含む）・駐車場」が多い。「階段」では、「段差で足を踏み外した」、「転んだ、つまずいた、すべった」経験が多く、転倒・転落につながる経験が多く挙げられた。「庭（ベランダを含む）・駐車場」でも同様に、「転んだ、つまずいた、すべった」経験があるとの回答がみられた（図 12 参照）。

また、製品別でけが等の経験を質問したところ、「脚立・踏み台」で経験した人が多く、「高さのあるところから落ちた」、「段差で足を踏み外した」等、転落につながる回答が多くみられた。次いで、「敷物（カーペット・玄関マット・キッチンマット等）※電気カーペットを除く」でのけが等の経験も次いで多く挙げられた（図 15 参照）。加えて、消費者協会調査では、「履物」を着用している際のけが等の経験に関する回答もみられ、転倒に関連するけがの経験等が多く挙げられた。

本調査ではさらに、自宅で利用している事故防止に関する設備や製品、サービスの有無を質問したところ、転倒・転落事故防止に関する設備として「歩行や立ち座りを補助する手すり」を利用している人が 22.9%で、それ以外の設備等を利用している人は 20%未満であった（図 18 参照）。また、けがを防ぐために「動ける範囲で、こまめに体を動かすようにしている」人（「よくしている」と「ときどきしている」と回答した人の合計）は 75%以上である一方、「床に物を置かないようにしている」、「高いところに物を置かないようにしている」人は、全体の半数程度であった（図 19 参照）。

東京消防庁<sup>12</sup>によると、高齢者の日常生活での事故の中で最も多いのが「ころぶ」（転倒）事故であり、毎年多くの高齢者が「ころぶ」事故によるけがで救急搬送されている。次いで「落ちる」（転落）事故が多いことも挙げられており、「ころぶ」、「落ちる」事故の件数を足し合わせると、高齢者が救急搬送された事故のうち、9割を占めることが示されている（図 21）。

---

<sup>12</sup> 東京消防庁「救急搬送データからみる高齢者の事故～日常生活での高齢者の事故を防ぐために～」[https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/life/topics/nichi\\_jou/kkhansoudeta.html](https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/life/topics/nichi_jou/kkhansoudeta.html)（令和5年3月22日最終閲覧）

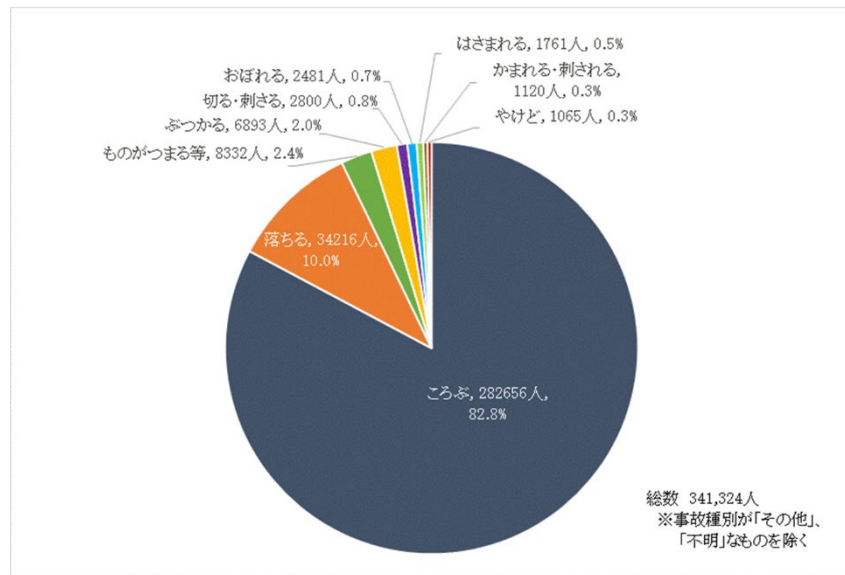


図 21 事故種別ごとの高齢者の救急搬送人員

(東京消防庁「救急搬送データからみる高齢者の事故～日常生活での高齢者の事故を防ぐために～」<sup>12</sup>を基に消費者庁がグラフ作成)

また、年齢が高くなるにつれて、年齢ごとの人口に占める「ころぶ」、「落ちる」事故による救急搬送人員の割合も増加していることが記されている。また、消費者庁が医療機関ネットワーク事業を通じて取得した事故情報を分析した結果によると、65歳以上の高齢者が自宅で転倒した事案のうち、危害の症状別では「擦過傷、挫傷、打撲傷」に次いで「骨折」の件数が多く、骨折した場合は要入院が76%、要通院が22%となることが示されている<sup>13</sup>。転倒による骨折が原因で介護が必要となることもあるため、転倒・転落事故の危険性は、高齢者本人やその家族等の支援者に十分に認識される必要がある。

消費者庁の注意喚起情報<sup>13</sup>では、転倒事故防止のためのアドバイスとして、以下の5点のポイントを示している。

### ○転倒事故を防ぐためのポイント

- ・個人に合った適度な運動を続け、体の機能の低下を防ぐ。
- ・浴室や脱衣所には、滑り止めマットを敷く。
- ・ベッドから起き上がる時や体勢を変えるときは慎重に。
- ・段差のあるところや階段、玄関には、手すりや滑り止めを設置する。
- ・電源コードが通过道にこないように、電気製品を置く。

<sup>13</sup> 消費者庁「10月10日は「転倒予防の日」、高齢者の転倒事故に注意しましょう！ ―転倒事故の約半数が住み慣れた自宅で発生しています―」

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer\\_safety/caution/caution\\_040/assets/consumer\\_safety\\_cms204\\_201008\\_01.pdf](https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/caution/caution_040/assets/consumer_safety_cms204_201008_01.pdf) (令和5年3月22日最終閲覧)

## ②溺水

温度変化による急激な血圧の変動により、脳内の血流量が減って意識を失ったり、長時間熱い風呂に入ることによる体温上昇で意識障害を起こしたりする、いわゆる「ヒートショック」によって溺水事故が発生することが懸念されている。東京消防庁<sup>12</sup>によると、「おぼれる」（溺水）事故により救急搬送された高齢者の 98.4%が、入院が必要とされる中等症以上であることが示されており、溺水が重篤な症状を引き起こす事故であることが示唆されている（図 22）。

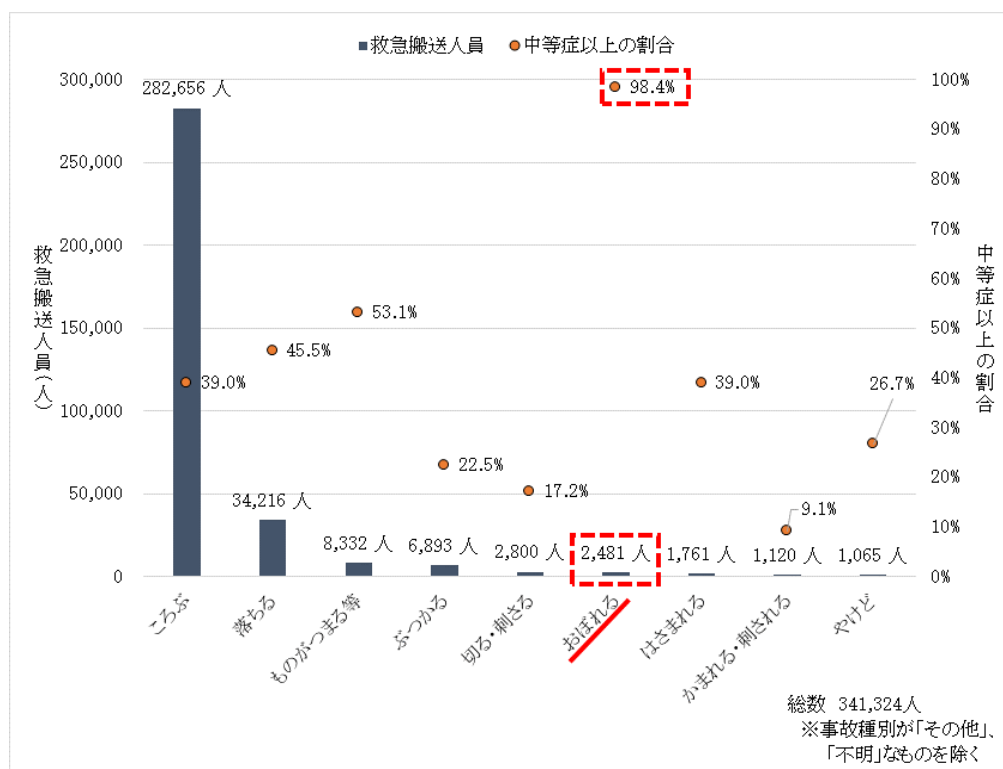


図 22 事故種別ごとの高齢者の救急搬送人員と中等症以上の割合  
(東京消防庁「救急搬送データからみる高齢者の事故～日常生活での高齢者の事故を防ぐために～」<sup>12</sup>を基に消費者庁がグラフ作成)

今回の調査では、溺水に関する経験等の回答はほとんど得られなかった。このような結果に至った背景として、東京消防庁の救急搬送データから、「おぼれる」事故による救急搬送人員は、「ころぶ」、「落ちる」事故等と比べて多くはないこと、また、溺水事故が発生した場合は入院を要する以上の重篤な症状を引き起こす可能性が高いため、調査対象者のうち実際に溺水事故を経験した人が少ないことが考えられる。また、「ヒートショック」の対策となり得る「浴室や脱衣所の暖房器具」を利用している人は 28.9%に留まり、「入浴前に脱衣所や浴室を暖めている」人は、「よくしている」と「ときどきしている」人を合わせても半数に満たない。この結果については、ほとんどの調査対象者が溺水事故を経験していないことから、対策を講じることに意識があまり向けられていないことが考えられる。溺水事故は、死亡を含め重篤な状況に陥る可能性が極めて高く、特に未然防止の対策が必要である。

消費者庁では例年、高齢者の事故について注意喚起を行っている。令和4年は、浴室での溺水事故について大きく取り上げており、高齢者に多いとされているヒートショックについてのコラムや、部屋間の寒暖差に係る住宅の断熱性についての参考情報を掲載している<sup>14</sup>。また、入浴前及び入浴時の注意ポイントとして、以下の8点を挙げている。

#### ○入浴前・入浴時の注意ポイント

- ・脱衣所や浴室を暖める。断熱性の向上と暖房設備の導入も検討を。
- ・こまめな水分補給をする。
- ・食後すぐの入浴や、飲酒後、服薬後の入浴は避ける。
- ・入浴する前に同居者に一声掛けて、意識してもらう。
- ・湯温は41度以下、湯につかる時間は10分までを目安にする。
- ・湯温や部屋間の温度差、入浴時間など普段意識しにくい部分について、温度計やタイマーを活用して見える化する。
- ・浴槽から急に立ち上がらないようにする。
- ・浴槽内で意識がもうろうとしたら、気を失う前に湯を抜く。

#### 5. おわりに

東京消防庁の救急搬送データ等から、転倒・転落や溺水等、高齢者の日常生活での事故が多く発生していることが示されている中、本調査では、高齢者自身が経験した住環境での事故や事故防止対策、意識等について、ネットアンケート及び消費者協会調査（アンケート及びヒアリング）を行った。その結果、全体としてけがの経験がある人は少ないものの、場所では「階段」、「庭（ベランダを含む）・駐車場」、製品では「脚立・踏み台」でのけがの経験がある人が多かった。消費者協会調査にて、転倒・転落につながる、またはそのおそれのある事例が挙げられ、けが等の経験に関する詳細な内容が得られた。その一方で、事故防止対策については、転倒・転落事故を中心に、事故防止対策を行っているという回答が挙がったものの、浴室での溺水事故防止対策を含め、全体的に事故防止の対策等を行っている人は多くはなかった。これらの結果から、事故の危険性があまり認識されていないおそれがあることがうかがえ、高齢者の日常生活での事故が多いことを踏まえると、自宅での事故の危険性は、高齢者自身やその家族等の支援者も含め、より多くの人に認識されるべきである。

高齢者は、一度事故が起こると重篤な状況に陥る危険性が高いため、住み慣れた自宅であっても、高齢者自身やその家族等の支援者が積極的に事故防止について意識し、事故が起きる前に少しずつでも問題点を改善し、対策に取り組むことが重要である。今回の調査でけがの経験が挙がった「転

<sup>14</sup> 消費者庁「年末年始に増加する高齢者の事故に注意しましょう！ー浴室での溺水事故、餅による窒息事故、掃除中・除雪中の転倒・転落事故等に注意ー 別添 ◎高齢者の事故に関するデータとアドバイス等」[https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer\\_safety/caution/caution\\_067/assets/consumer\\_safety\\_cms205\\_221227\\_02.pdf](https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_safety/caution/caution_067/assets/consumer_safety_cms205_221227_02.pdf)（令和5年3月22日最終閲覧）

倒・転落」事故を中心に、その要因等を把握し、住環境での事故の未然防止や再発防止に向けて、啓発方法の検討等が必要である。

(以上)

## 住まいの安全等に関する調査

この度はお忙しい中、本調査にご協力いただき誠にありがとうございます。

このアンケートでは、現在住まわれている環境における、みなさまの身の回りの安全に関する取り組みや意識等についてお聞きします。

本調査結果等は、全て個人及び個人データが特定できない形で統計的に処理するとともに厳重に保管しますので、個人のお名前やご意見が外部に出ることはありません。

### 【ご回答にあたって】

- 1) アンケートは必ず、ご本人がお答えください。
- 2) アンケートは 20 分程度でご回答いただける内容です。
- 3) 現時点での内容をお答えください。



あなたのご自宅の状況についてお聞きます

(事前調査)

あなたは、現在の住宅にお住まいになってから、何年になりますか。住宅を建替えたり、リフォームをしたりした場合は、住宅の建替えやリフォームを行ってからの年数をお答えください。(1つに○)

※「リフォーム」には、古くなった住宅の一部を改修することを含みます。

- |           |           |          |
|-----------|-----------|----------|
| 1. 10 年未満 | 2. 10 年以上 | 3. 回答しない |
|-----------|-----------|----------|

問1 あなたは、現在の住宅にお住まいになってから、何年になりますか。住宅を建替えたり、リフォームをしたりした場合は、住宅の建替えやリフォームを行ってからの年数をお答えください。(1つに○)

※「リフォーム」には、古くなった住宅の一部を改修することを含みます。

- |                  |                  |           |
|------------------|------------------|-----------|
| 1. 10 年以上 20 年未滿 | 2. 20 年以上 30 年未滿 | 3. 30 年以上 |
|------------------|------------------|-----------|

問2 あなたのお住まいは、次の中ではどれにあたりますか。(1つに○)

- |   |
|---|
| <p>1. 持家（一戸建て）</p> <p>2. 持家（分譲マンション等の集合住宅）</p> <p>3. 賃貸住宅（一戸建て）</p> <p>4. 賃貸住宅（アパート、マンション、公営・公団等の集合住宅）</p> <p>5. その他（ ）</p> |
|---|

## ご自宅の中でけがをした・けがをしそうになった経験についてお聞きます

問3 あなたは過去5年以内に、ご自宅内の以下の場所で、けがをしたこと、けがをしそうになったことがありますか。  
 同じ場所で複数の経験がある場合は、最も大きなけがをした経験についてお答えください。(それぞれ1つに○)  
 ※「けが」には、やけど、溺水などによる体調不良、火事になりそうになったことを含みます。

a) 居間（リビング）	1. けがをして病院へ行った → 1. を選択した方(1. 一度だけ治療 2. 数回通院した 3. 入院した) 2. けがをして自宅で処置した(病院には行かなかった) 3. けがをしそうになった 4. けがをしたこと・けがをしそうになったことはない 5. 自宅内に、当てはまる場所はない
<b>【a)で1. 2. 3. を選んだ方】</b> どのようなことが起きましたか	1. 転んだ、つまずいた、すべった 2. 高さのあるところから落ちた 3. 段差で足を踏み外した 4. 体をぶつけた 5. 高いところに置いてある物が落ちてきた 6. ドアや扉で指を挟んだ 7. 熱いものに触った(熱いものをこぼした) 8. その他( )
b) 食堂（ダイニング）・台所（キッチン）	1. けがをして病院へ行った → 1. を選択した方(1. 一度だけ治療 2. 数回通院した 3. 入院した) 2. けがをして自宅で処置した(病院には行かなかった) 3. けがをしそうになった 4. けがをしたこと・けがをしそうになったことはない 5. 自宅内に、当てはまる場所はない
<b>【b)で1. 2. 3. を選んだ方】</b> どのようなことが起きましたか	1. 転んだ、つまずいた、すべった 2. 高さのあるところから落ちた 3. 段差で足を踏み外した 4. 体をぶつけた 5. 高いところに置いてある物が落ちてきた 6. ドアや扉で指を挟んだ 7. 熱いものに触った(熱いものをこぼした) 8. その他( )
c) 風呂場・脱衣所・洗面所・トイレ	1. けがをして病院へ行った → 1. を選択した方(1. 一度だけ治療 2. 数回通院した 3. 入院した) 2. けがをして自宅で処置した(病院には行かなかった) 3. けがをしそうになった 4. けがをしたこと・けがをしそうになったことはない 5. 自宅内に、当てはまる場所はない
<b>【c)で1. 2. 3. を選んだ方】</b> どのようなことが起きましたか	1. 転んだ、つまずいた、すべった 2. 高さのあるところから落ちた 3. 段差で足を踏み外した 4. 体をぶつけた 5. 高いところに置いてある物が落ちてきた 6. ドアや扉で指を挟んだ 7. 熱いものに触った(熱いものをこぼした) 8. 気分が悪くなった、動けなくなった 9. その他( )
d) 玄関（勝手口を含む）	1. けがをして病院へ行った → 1. を選択した方(1. 一度だけ治療 2. 数回通院した 3. 入院した) 2. けがをして自宅で処置した(病院には行かなかった) 3. けがをしそうになった 4. けがをしたこと・けがをしそうになったことはない 5. 自宅内に、当てはまる場所はない
<b>【d)で1. 2. 3. を選んだ方】</b> どのようなことが起きましたか	1. 転んだ、つまずいた、すべった 2. 高さのあるところから落ちた 3. 段差で足を踏み外した 4. 体をぶつけた 5. 高いところに置いてある物が落ちてきた

	<b>6. ドアや扉で指を挟んだ</b> <b>7. 熱いものに触った(熱いものをこぼした)</b> <b>8. その他( )</b>
e) 階段	<b>1. けがをして病院へ行った</b> → <b>1. を選択した方(1. 一度だけ治療 2. 数回通院した 3. 入院した)</b> <b>2. けがをして自宅で処置した(病院には行かなかった)</b> <b>3. けがをしそうになった</b> <b>4. けがをしたこと・けがをしそうになったことはない</b> <b>5. 自宅内に、当てはまる場所はない</b>
<b>【e)で1. 2. 3. を選んだ方】</b> どのようなことが起きましたか	<b>1. 転んだ、つまずいた、すべった</b> <b>2. 高さのあるところから落ちた</b> <b>3. 段差で足を踏み外した</b> <b>4. 体をぶつけた</b> <b>5. 高いところに置いてある物が落ちてきた</b> <b>6. ドアや扉で指を挟んだ</b> <b>7. 熱いものに触った(熱いものをこぼした)</b> <b>8. その他( )</b>
f) 廊下	<b>1. けがをして病院へ行った</b> → <b>1. を選択した方(1. 一度だけ治療 2. 数回通院した 3. 入院した)</b> <b>2. けがをして自宅で処置した(病院には行かなかった)</b> <b>3. けがをしそうになった</b> <b>4. けがをしたこと・けがをしそうになったことはない</b> <b>5. 自宅内に、当てはまる場所はない</b>
<b>【f)で1. 2. 3. を選んだ方】</b> どのようなことが起きましたか	<b>1. 転んだ、つまずいた、すべった</b> <b>2. 高さのあるところから落ちた</b> <b>3. 段差で足を踏み外した</b> <b>4. 体をぶつけた</b> <b>5. 高いところに置いてある物が落ちてきた</b> <b>6. ドアや扉で指を挟んだ</b> <b>7. 熱いものに触った(熱いものをこぼした)</b> <b>8. その他( )</b>
g) 庭(ベランダを含む)・駐車場	<b>1. けがをして病院へ行った</b> → <b>1. を選択した方(1. 一度だけ治療 2. 数回通院した 3. 入院した)</b> <b>2. けがをして自宅で処置した(病院には行かなかった)</b> <b>3. けがをしそうになった</b> <b>4. けがをしたこと・けがをしそうになったことはない</b> <b>5. 自宅内に、当てはまる場所はない</b>
<b>【g)で1. 2. 3. を選んだ方】</b> どのようなことが起きましたか	<b>1. 転んだ、つまずいた、すべった</b> <b>2. 高さのあるところから落ちた</b> <b>3. 段差で足を踏み外した</b> <b>4. 体をぶつけた</b> <b>5. 高いところに置いてある物が落ちてきた</b> <b>6. ドアや扉で指を挟んだ</b> <b>7. 熱いものに触った(熱いものをこぼした)</b> <b>8. その他( )</b>

問4 あなたは過去5年以内に、ご自宅内で以下の製品を使用中に、けがをしたり、けがをしそうになったことはありますか。同じ製品で複数の経験がある場合は、最も大きなけがをした経験についてお答えください。(それぞれ1つに○)

※「けが」には、やけど、溺水などによる体調不良、火事になりそうになったことを含みます。

a) 脚立・踏み台	1. けがをして病院へ行った → 1. を選択した方(1. 一度だけ治療 2. 数回通院した 3. 入院した) 2. けがをして自宅で処置した(病院には行かなかった) 3. けがをしそうになった 4. けがをしたこと・けがをしそうになったことはない 5. 自宅内にない、使っていない
【a)で1. 2. 3. を選んだ方】 どのようなことが起きましたか	1. 転んだ、つまずいた、すべった 2. 高さのあるところから落ちた 3. 段差で足を踏み外した 4. 体をぶつけた 5. 足元に物を落とした 6. その他( )
b) ベッド	1. けがをして病院へ行った → 1. を選択した方(1. 一度だけ治療 2. 数回通院した 3. 入院した) 2. けがをして自宅で処置した(病院には行かなかった) 3. けがをしそうになった 4. けがをしたこと・けがをしそうになったことはない 5. 自宅内にない、使っていない
【b)で1. 2. 3. を選んだ方】 どのようなことが起きましたか	1. 転んだ、つまずいた、すべった 2. 高さのあるところから落ちた 3. 段差で足を踏み外した 4. 体をぶつけた 5. 足元に物を落とした 6. その他( )
c) 敷物(カーペット・玄関マット・キッチンマット等) ※電気カーペットを除く	1. けがをして病院へ行った → 1. を選択した方(1. 一度だけ治療 2. 数回通院した 3. 入院した) 2. けがをして自宅で処置した(病院には行かなかった) 3. けがをしそうになった 4. けがをしたこと・けがをしそうになったことはない 5. 自宅内にない、使っていない
【c)で1. 2. 3. を選んだ方】 どのようなことが起きましたか	1. 転んだ、つまずいた、すべった、引っかかった 2. バランスを崩した 3. 足がもつれた 4. その他( )
d) ストーブ・ヒーター	1. けがをして病院へ行った → 1. を選択した方(1. 一度だけ治療 2. 数回通院した 3. 入院した) 2. けがをして自宅で処置した(病院には行かなかった) 3. けがをしそうになった 4. けがをしたこと・けがをしそうになったことはない 5. 自宅内にない、使っていない
【e)で1. 2. 3. を選んだ方】 どのようなことが起きましたか	1. やけどした 2. 消し忘れた 3. 衣服に火が燃え移った 4. 燃料(灯油等)が漏れた 5. 周囲の物が焦げた 6. 電源コードに足が引っかかった 7. 体をぶつけた 8. その他( )
e) こんろ(ガス・電気)	1. けがをして病院へ行った → 1. を選択した方(1. 一度だけ治療 2. 数回通院した 3. 入院した) 2. けがをして自宅で処置した(病院には行かなかった) 3. けがをしそうになった 4. けがをしたこと・けがをしそうになったことはない

	5. 自宅内にない、使っていない
【f)で1. 2. 3.を選んだ方】 どのようなことが起きましたか	1. やけどした 2. 消し忘れた 3. 衣服に火が燃え移った 4. 周囲の物が焦げた 5. 調理器具(鍋やフライパン等)を落とした 6. その他( )
f) 電気毛布・電気カーペット	1. けがをして病院へ行った → 1. を選択した方(1. 一度だけ治療 2. 数回通院した 3. 入院した) 2. けがをして自宅で処置した(病院には行かなかった) 3. けがをしそうになった 4. けがをしたこと・けがをしそうになったことはない 5. 自宅内にない、使っていない
【g)で1. 2. 3.を選んだ方】 どのようなことが起きましたか	1. 転んだ、つまずいた、すべった、引っかかった 2. やけどした 3. 消し忘れた 4. 周囲の物が焦げた 5. 電源コードに足が引っかかった 5. 製品から火が出た 6. その他( )

問5 あなたがご自宅内でけがをした経験やけがをしそうになった経験について、詳しい状況やその時に考えたことについて、差し支えなければ教えてください。(自由に記入)

## ご自宅でのけがを防ぐために行っていることについてお聞きます

問6 あなたのご自宅の設備の中で、問題がある、改善したいと感じている点がありますか。(○はいくつでも)

1. 階段や廊下、浴室に手すりがない	5. 浴槽や浴室の床がすべりやすい
2. 床や畳がすべりやすい	6. 浴室や脱衣所が寒い
3. 部屋や廊下との境界に段差がある	7. その他( )
4. 浴槽の高さが高く、入りにくい	8. 問題がある、改善したいと感じている点はない

問7 あなたのご自宅では、以下の設備や製品、サービスを利用していますか。(○はいくつでも)

1. 段差を緩やかにするスロープ板	7. 火を使わない電気調理器(IH調理器等)
2. 歩行や立ち座りを補助する手すり	8. 浴室や脱衣所の暖房器具
3. 足元を照らす照明器具	9. 階段のすべり止め
4. 段差のふちが分かる目印(蛍光テープ等)	10. 困ったことが起きた際に連絡する見守りサービス
5. 敷物の下に敷く、すべり止めシート	11. 住宅の設備や製品の定期点検サービス
6. 安全装置付きガスコンロ(コンロ周りに近づくと火を弱める等)	12. その他( )
	13. 特に利用している設備や製品、サービスはない

問8 あなたはご自宅内でのけがを防ぐために、以下のことについてどの程度行っていますか。(それぞれ1つに○)

※設問中に記載している製品がご自宅にない場合は、「あてはまらない」を選択してください。

	よく している	ときどき している	あまり していない	全く していない	あてはまら ない
a) 危ないと思う作業は、できるだけ他の人に頼んでいる。	1	2	3	4	5
b) 床に物を置かないようにしている。	1	2	3	4	5
c) 高いところに物を置かないようにしている。	1	2	3	4	5
d) 入浴前に脱衣所や浴室を暖めている。	1	2	3	4	5
e) 火を使うときは、引火しないよう服装に気をつけている。	1	2	3	4	5
f) 製品を買ったときは、取扱説明書を読んでから使用している。	1	2	3	4	5
g) 製品の使用期限や耐用年数を確認している。	1	2	3	4	5
h) 住宅設備や製品を自分や家族等が点検している。	1	2	3	4	5
i) 動ける範囲で、こまめに体を動かすようにしている。	1	2	3	4	5
j) 自分の身体の状態について、家族等に話している。	1	2	3	4	5

問9 問6～問8で答えた以外に、あなたがご自宅内の設備で問題があると考えているところや、けがをしないよう対策したり、気をつけたりしていることがあれば、教えてください。(自由に記入)

## あなたご自身についてお聞きします

問10 あなたの年齢(令和4年〇月〇日現在)

--	--

歳

問11 性別(1つに○)

- |       |       |              |
|-------|-------|--------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他・回答しない |
|-------|-------|--------------|

問12 あなたのお住まいの地域(1つに○)

- |                   |               |          |
|-------------------|---------------|----------|
| 1. 東京23区、大阪市、名古屋市 | 2. 1. 以外の市区町村 | 3. 回答しない |
|-------------------|---------------|----------|

問13 同じ住宅に居住しているご家族についてお聞きします。

a) 何人で住んでいますか。(あなたも含めた全員の人数)

--	--

人

b) どなたと一緒に住んでいますか。あなたからみてあてはまる人を、全てお選びください。(○はいくつでも)

- |                      |
|----------------------|
| 1. 配偶者・パートナー         |
| 2. 父親・母親             |
| 3. 兄弟姉妹              |
| 4. 子(子の配偶者・パートナーを含む) |
| 5. 孫・曾孫              |
| 6. その他:(具体的に )       |
| 7. 同居者はいない           |
| 8. 回答しない             |

問14 あなたは以前と比べて、ご自身の身体について以下のことを感じますか。差し支えない範囲で教えてください。  
(○はいくつでも)

- |                          |                       |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 小さな文字は老眼鏡がなければ見づらくなった | 8. 体に痛い所があり、動かしにくくなった |
| 2. 微妙な色の違いや濃淡が見分けづらくなった  | 9. すばやく動くものに反応できなくなった |
| 3. 暗い場所では物が見づらくなった       | 10. においの感覚が鈍くなった      |
| 4. 耳が遠くなり、音が聞き取りづらくなった   | 11. 熱さ・冷たさの感覚が鈍くなった   |
| 5. 階段や段差の昇り降りが苦手になった     | 12. その他( )            |
| 6. 手指の力が弱くなった            | 13. この中で特に変化を感じることはない |
| 7. 重いものを持つことが苦手になった      | 14. 回答しない             |

問15 お住まいの環境での安全に関するご意見等がありましたら自由に記入してください。

--

◎ これで質問は終わりです。長時間ご協力いただきましてありがとうございました。 ◎

## お住まいの安全等に関するアンケート

この度はお忙しい中、アンケート調査に御協力いただきありがとうございます。

消費者庁新未来創造戦略本部では、高齢者の方がお住まいの環境でけがをすることを防ぐため、ご自宅でのけがの経験等について調査を行っています。

このアンケート調査では、現在お住まいのご自宅の中で、皆さまがけがをしそうになってヒヤッとした・実際にけがをした経験や、お住まいの環境に関することをお聞きし、今後の消費者の生命・身体の安全に関する取り組みに活かしたいと考えております。

◎ アンケートについて ◎

- ・アンケートは、全部で4ページです。
- ・結果等は、全て個人及び個人データが特定できない形で処理するとともに厳重に保管しますので、個人のお名前等が外部に出ることはありません。
- ・回答は任意です。
- ・アンケートは20分程度でお答えいただける内容です。
- ・アンケートは令和4年11月〇日までに同封の返信用封筒にてお送りください。

あなたのご自宅の状況についてお聞きます

問1 あなたは、現在の住宅にお住まいになってから、何年になりますか。住宅を建替えたり、リフォームをしたりした場合は、住宅の建替えやリフォームを行ってからの年数をお答えください。(1つに○)

※「リフォーム」には、古くなった住宅の一部を改修することを含みます。

1. 10 年未滿  
2. 10 年以上 20 年未滿  
3. 20 年以上 30 年未滿  
4. 30 年以上

問2 あなたのお住まいは、次の中ではどれにあたりますか。(1つに○)

1. 持家（一戸建て）
2. 持家（分譲マンション等の集合住宅）
3. 賃貸住宅（一戸建て）
4. 賃貸住宅（アパート、マンション、公営・公団等の集合住宅）
5. その他（ ）

次のページへ→



ご自宅の中でけがをしそうになった・けがをした経験についてお聞きします

問3 あなたは過去5年以内に、ご自宅内でけがをしそうになったこと、実際にけがをしたことはありますか。(1つに○)

1. はい

2. いいえ

問6へお進みください。

問4 問3で「1. はい」と答え方にお聞きします。

けがをしそうになった・けがをした時の経験について、下の回答欄にお書きください。

※複数の経験が有る場合は、箇条書きで構いませんので、いくつでも幅広く教えてください。

	回答欄
①どこで起こりましたか。(○はいくつでも)	1. 居間（リビング） 2. 食堂（ダイニング）・台所（キッチン） 3. 風呂場・脱衣所・洗面所・トイレ 4. 玄関（勝手口を含む） 5. 階段 6. 廊下 7. 庭（ベランダを含む）・駐車場 8. その他の自宅内の場所（ ）
②何をしていた時に、どのようなことが起こりましたか。(自由に記入) ※複数の経験がある場合は、幅広く教えてください。	例) 階段から落ちそうになった、玄関から家の中に上がろうとしてつまずいた、シャワーを浴びようとしてやけどしそうになった、等
③その時に使っていたもの(製品)や、身につけていたものがありますか。 (自由に記入)	例) 踏み台、敷物(カーペット、マット等)、ストーブ、靴下、スリッパ等
④その理由や原因について、考えられるものがありますか。(自由に記入)	例) 寒い日で重ね着していて体が動きにくかった、足元をよく見ていなかった、等
⑤その時、どの程度のけがをしましたか。(○はいくつでも)	1. けがをしそうになり、ヒヤッとした。 2. けがをしたが病院には行かず、自宅で手当・処置した。 3. けがをして病院へ行き、一度だけ治療した。 4. けがをして病院へ行き、その後数回通院した。 5. けがをして病院へ行き、そのまま入院した。

次のページへ→

問5 けがをしそうになった・けがをした時の経験について、その詳しい状況やその時に考えたこと、問4の回答欄に書ききれなかったこと等、差し支えなければ教えてください。(いくつでも自由に記入)

問6 ご家族の方やご近所の方等、あなたの周りの高齢者の方がけがをしそうになった・けがをした経験について見聞きしたことがあれば、差し支えない範囲で教えてください。(いくつでも自由に記入)

#### ご自宅でのけがを防ぐために行っていることについてお聞きします

問7 あなたのご自宅の設備の中で、問題がある、改善したいと感じている点がありますか。(いくつでも自由に記入)

例) 床や畳がすべりやすい、浴室や脱衣所が寒い、階段に手すりがない、等

問8 あなたは、ご自宅の中でけがをしないように既に対策したり、日頃から気をつけたりしていることはありますか。(いくつでも自由に記入)

例) 階段には足元を照らす照明器具をつけている、こまめに体を動かすようにしている、等

次のページへ→

あなたご自身についてお聞きします

問 9 あなたの年齢（令和 4 年 11 月 1 日現在）

--	--

 歳

問 10 性別（1 つに○）

- |       |       |              |
|-------|-------|--------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他・回答しない |
|-------|-------|--------------|

問 11 同じ住宅に居住しているご家族についてお聞きします。

a) 何人で住んでいますか。（あなたも含めた全員の人数）

--	--

 人

b) どなたと一緒に住んでいますか。あなたからみてあてはまる人を、全てお選びください。（○はいくつでも）

- |                      |                |
|----------------------|----------------|
| 1. 配偶者・パートナー         | 5. 孫・曾孫        |
| 2. 父親・母親             | 6. その他：（具体的に）  |
| 3. 兄弟姉妹              | 7. 同居している人はいない |
| 4. 子（子の配偶者・パートナーを含む） | 8. 回答しない       |

問 12 あなたは以前と比べて、ご自身の身体の変化について感じることはありますか。差し支えない範囲で教えてください。（いくつでも自由に記入）

例）小さな文字は老眼鏡がなければ見づらくなった、階段や段差の昇り降りが苦手になった、重いものを持つことが苦手になった、体に痛い所があり、動かしにくくなった、等

問 13 お住まいの環境での安全に関するご意見等がありましたら自由に記入してください。

--

◎ これで質問は終わりです。長時間ご協力いただきましてありがとうございました。◎

### 別添3 単純集計結果（ネットアンケート）

#### 【割り付け】

（都市部（東京23区、大阪市、名古屋市）、その他市町村／年齢）

	全 体	都市部／ 65－69歳男性	都市部／ 70－74歳男性	都市部／ 75歳以上男性	都市部／ 65－69歳女性	都市部／ 70－74歳女性	都市部／ 75歳以上女性	その他市町村／ 65－69歳男性	その他市町村／ 70－74歳男性	その他市町村／ 75歳以上男性	その他市町村／ 65－69歳女性	その他市町村／ 70－74歳女性	その他市町村／ 75歳以上女性
N	800	67	67	66	67	67	66	66	67	67	66	67	67
%	100.0	8.4	8.4	8.3	8.4	8.4	8.3	8.3	8.4	8.4	8.3	8.4	8.4

#### （年齢）

○あなたのご年齢をお答え下さい。

	全 体	65－69歳	70－74歳	75歳以上	平 均
N	800	266	268	266	72.22
%	100.0	33.3	33.5	33.3	

#### （性別）

○あなたの性別をお答え下さい。

	全 体	男性	女性	その他・回答しない
N	800	400	400	－
%	100.0	50.0	50.0	－

(都市部（東京 23 区、大阪市、名古屋市）、その他市町村)

○あなたのお住まいの地域（1 つ）

	全 体	東京 23 区、 大阪 市、 名古屋 市	上 記 以 外 の 市 区 町 村	回 答 し な い
N	800	400	400	-
%	100.0	50.0	50.0	-

○あなたは、現在の住宅にお住まいになってから、何年になりますか。（1 つ）

住宅を建替えたり、リフォームをしたりした場合は、建替えやリフォームを行ってからの年数をお答えください。※「リフォーム」には、古くなった住宅の一部を改修することを含みます。

	全 体	1 0 年 以 上 2 0 年 未 満	2 0 年 以 上 3 0 年 未 満	3 0 年 以 上
N	800	299	242	259
%	100.0	37.4	30.3	32.4

○あなたのお住まいは、次の中ではどれにあたりますか。（1 つ）

	全 体	持 家 （二 戸 建 て）	持 家 （分 譲 マ ン シ ヨ ン 等 の 集 合 住 宅）	賃 貸 住 宅 （二 戸 建 て）	賃 貸 住 宅 （ア パ ー ト、 マ ン シ ヨ ン、 公 営・公 団等 の集 合住 宅）	そ の 他
N	800	499	236	8	55	2
%	100.0	62.4	29.5	1.0	6.9	0.3

○あなたは過去5年以内に、ご自宅内の以下の場所で、けがをしたこと、けがをしそうになったことがありますか。同じ場所で複数の経験がある場合は、最も大きなけがをした経験についてお答えください。

a) 居間（リビング）

	全 体	けがをして病院へ行った	けがをして自宅 で処置した (病院には行 かなかった)	けがをしそう になった	けがをしたこと・ けがをしそうに なったことは ない	自宅内に、 当てはまる場 所はない
N	800	7	5	17	414	357
%	100.0	0.9	0.6	2.1	51.8	44.6

b) 食堂（ダイニング）・台所（キッチン）

	全 体	けがをして病院へ行った	けがをして自宅 で処置した (病院には行 かなかった)	けがをしそう になった	けがをしたこと・ けがをしそうに なったことは ない	自宅内に、 当てはまる場 所はない
N	800	4	17	18	414	347
%	100.0	0.5	2.1	2.3	51.8	43.4

c) 風呂場・脱衣所・洗面所・トイレ

	全 体	けがをして病院へ行った	けがをして自宅 で処置した (病院には行 かなかった)	けがをしそう になった	けがをしたこと・ けがをしそうに なったことは ない	自宅内に、 当てはまる場 所はない
N	800	8	7	33	407	345
%	100.0	1.0	0.9	4.1	50.9	43.1

## d) 玄関（勝手口を含む）

	全 体	けがをして病院へ行った	けがをして自宅で処置した（病院には行かなかった）	けがをしそうになった	けがをしたこと・ けがをしそうになったことはない	自宅内に、当てはまる場所はない
N	800	3	4	4	438	351
%	100.0	0.4	0.5	0.5	54.8	43.9

## e) 階段

	全 体	けがをして病院へ行った	けがをして自宅で処置した（病院には行かなかった）	けがをしそうになった	けがをしたこと・ けがをしそうになったことはない	自宅内に、当てはまる場所はない
N	800	9	9	54	322	406
%	100.0	1.1	1.1	6.8	40.3	50.8

## f) 廊下

	全 体	けがをして病院へ行った	けがをして自宅で処置した（病院には行かなかった）	けがをしそうになった	けがをしたこと・ けがをしそうになったことはない	自宅内に、当てはまる場所はない
N	800	2	-	9	412	377
%	100.0	0.3	-	1.1	51.5	47.1

## g) 庭（ベランダを含む）・駐車場

	全 体	けがをして病院へ行った	けがをして自宅で処置した (病院には行かなかった)	けがをしそうになった	けがをしたこと・ けがをしそうになったことはない	自宅内に、当てはまる場所はない
N	800	9	9	27	386	369
%	100.0	1.1	1.1	3.4	48.3	46.1

○先程、けがをした（しそうになった）ことがあるとお答えになった場所でどのようなことが起きましたか。同じ場所で複数の経験がある場合は、最も大きなけがをした経験についてお答えください。（それぞれ1つ）

## a) 居間（リビング）

	全 体	転んだ、つまずいた、すべった	高さのあるところから落ちた	段差で足を踏み外した	体をぶつけた	高いところに置いてある物が落ちてきた	ドアや扉で指を挟んだ	熱いものに触った（熱いものをこぼした）	気分が悪くなった、動けなくなった	その他
N	29	12	3	1	8	-	1	-	-	4
%	100.0	41.4	10.3	3.4	27.6	-	3.4	-	-	13.8



## b) 食堂（ダイニング）・台所（キッチン）

	全体	転んだ、つまずいた、すべった	高さのあるところから落ちた	段差で足を踏み外した	体をぶつけた	高いところに置いてある物が落ちてきた	ドアや扉で指を挟んだ	熱いものに触った（熱いものをこぼした）	気分が悪くなった、動けなくなった	その他
N	39	4	2	-	7	3	1	20	-	2
%	100.0	10.3	5.1	-	17.9	7.7	2.6	51.3	-	5.1

## c) 風呂場・脱衣所・洗面所・トイレ

	全体	転んだ、つまずいた、すべった	高さのあるところから落ちた	段差で足を踏み外した	体をぶつけた	高いところに置いてある物が落ちてきた	ドアや扉で指を挟んだ	熱いものに触った（熱いものをこぼした）	気分が悪くなった、動けなくなった	その他
N	48	30	2	2	6	-	2	2	4	-
%	100.0	62.5	4.2	4.2	12.5	-	4.2	4.2	8.3	-

d) 玄関（勝手口を含む）

	全 体	転んだ、つまずいた、すべった	高さのあるところから落ちた	段差で足を踏み外した	体をぶつけた	高いところに置いてある物が落ちてきた	ドアや扉で指を挟んだ	熱いものに触った（熱いものをこぼした）	気分が悪くなった、動けなくなった	その他
N	11	3	2	1	2	-	2	-	-	1
%	100.0	27.3	18.2	9.1	18.2	-	18.2	-	-	9.1

e) 階段

	全 体	転んだ、つまずいた、すべった	高さのあるところから落ちた	段差で足を踏み外した	体をぶつけた	高いところに置いてある物が落ちてきた	ドアや扉で指を挟んだ	熱いものに触った（熱いものをこぼした）	気分が悪くなった、動けなくなった	その他
N	72	19	7	38	6	2	-	-	-	-
%	100.0	26.4	9.7	52.8	8.3	2.8	-	-	-	-

## f) 廊下

	全 体	転んだ、つまずいた、すべった	高さのあるところから落ちた	段差で足を踏み外した	体をぶつけた	高いところに置いてある物が落ちてきた	ドアや扉で指を挟んだ	熱いものに触った（熱いものをこぼした）	気分が悪くなった、動けなくなった	その他
N	11	7	-	1	1	2	-	-	-	-
%	100.0	63.6	-	9.1	9.1	18.2	-	-	-	-

## g) 庭（ベランダを含む）・駐車場

	全 体	転んだ、つまずいた、すべった	高さのあるところから落ちた	段差で足を踏み外した	体をぶつけた	高いところに置いてある物が落ちてきた	ドアや扉で指を挟んだ	熱いものに触った（熱いものをこぼした）	気分が悪くなった、動けなくなった	その他
N	45	26	5	5	5	1	1	-	-	2
%	100.0	57.8	11.1	11.1	11.1	2.2	2.2	-	-	4.4

○先程、けがをして病院へ行ったとお答えになりましたが、あてはまるものをそれぞれひとつだけお選びください。同じ場所で複数の経験がある場合は、最も大きなけがをした経験についてお答えください。

a) 居間（リビング）

	全体	一度だけ治療	数回通院した	入院した
N	7	2	5	－
%	100.0	28.6	71.4	－

b) 食堂（ダイニング）・台所（キッチン）

	全体	一度だけ治療	数回通院した	入院した
N	4	3	1	－
%	100.0	75.0	25.0	－

c) 風呂場・脱衣所・洗面所・トイレ

	全体	一度だけ治療	数回通院した	入院した
N	8	3	5	－
%	100.0	37.5	62.5	－

d) 玄関（勝手口を含む）

	全体	一度だけ治療	数回通院した	入院した
N	3	－	2	1
%	100.0	－	66.7	33.3

e) 階段

	全体	一度だけ治療	数回通院した	入院した
N	9	2	6	1
%	100.0	22.2	66.7	11.1

## f) 廊下

	全 体	一 度 だ け 治 療	数 回 通 院 し た	入 院 し た
N	2	-	2	-
%	100.0	-	100.0	-

## g) 庭（ベランダを含む）・駐車場

	全 体	一 度 だ け 治 療	数 回 通 院 し た	入 院 し た
N	9	1	6	2
%	100.0	11.1	66.7	22.2

○あなたは過去5年以内に、ご自宅内で以下の製品を使用中に、けがをしたり、けがをしそうになったことはありますか。同じ製品で複数の経験がある場合は、最も大きなけがをした経験についてお答えください。

a) 脚立・踏み台

	全 体	けがをして病院へ行った	けがをして自宅 で処置した (病院には行 かなかった)	けがをしそう になった	けがをしたこと・ けがをしそうに なったことは ない	自宅内に ない、使っ ていない
N	800	5	9	58	554	174
%	100.0	0.6	1.1	7.3	69.3	21.8

b) ベッド

	全 体	けがをして病院へ行った	けがをして自宅 で処置した (病院には行 かなかった)	けがをしそう になった	けがをしたこと・ けがをしそうに なったことは ない	自宅内に ない、使っ ていない
N	800	1	2	10	573	214
%	100.0	0.1	0.3	1.3	71.6	26.8

c) 敷物（カーペット・玄関マット・キッチンマット等）※電気カーペットを除く

	全 体	けがをして病院へ行った	けがをして自宅 で処置した (病院には行 かなかった)	けがをしそう になった	けがをしたこと・ けがをしそうに なったことは ない	自宅内に ない、使っ ていない
N	800	1	1	31	628	139
%	100.0	0.1	0.1	3.9	78.5	17.4

d) ストーブ・ヒーター

	全 体	けがをして病院へ行った	けがをして自宅 で処置した (病院には行 かなかった)	けがをしそう になった	けがをしたこと・ けがをしそうに なったことは ない	自宅内に ない、使っ ていない
N	800	1	2	8	582	207
%	100.0	0.1	0.3	1.0	72.8	25.9

e) こんろ (ガス・電気)

	全 体	けがをして病院へ行った	けがをして自宅 で処置した (病院には行 かなかった)	けがをしそう になった	けがをしたこと・ けがをしそうに なったことは ない	自宅内に ない、使っ ていない
N	800	2	11	11	606	170
%	100.0	0.3	1.4	1.4	75.8	21.3

f) 電気毛布・電気カーペット

	全 体	けがをして病院へ行った	けがをして自宅 で処置した (病院には行 かなかった)	けがをしそう になった	けがをしたこと・ けがをしそうに なったことは ない	自宅内に ない、使っ ていない
N	800	1	-	2	515	282
%	100.0	0.1	-	0.3	64.4	35.3

○先程、けがをした（しそうになった）ことがあるとお答えになった製品を使用中にどのようなことが起きましたか。同じ製品で複数の経験がある場合は、最も大きなけがをした経験についてお答えください。

a) 脚立・踏み台

	全 体	転んだ、つまずいた、すべった	高さのあるところから落ちた	段差で足を踏み外した	体をぶつけた	足元に物を落とした	その他
N	72	16	26	21	5	1	3
%	100.0	22.2	36.1	29.2	6.9	1.4	4.2

b) ベッド

	全 体	転んだ、つまずいた、すべった	高さのあるところから落ちた	段差で足を踏み外した	体をぶつけた	足元に物を落とした	その他
N	13	2	6	－	4	1	－
%	100.0	15.4	46.2	－	30.8	7.7	－

c) 敷物（カーペット・玄関マット・キッチンマット等）※電気カーペットを除く

	全 体	転んだ、つまずいた、すべった、引っかかった	バランスを崩した	足がもつれた	その他
N	33	23	3	7	－
%	100.0	69.7	9.1	21.2	－



d) ストーブ・ヒーター

	全 体	やけどした	消し忘れた	衣服に火が燃え移った	燃料（灯油等）が漏れた	周囲の物が焦げた	電源コードに足が引かなかった	体をぶつけた	その他
N	11	3	-	-	3	-	2	2	1
%	100.0	27.3	-	-	27.3	-	18.2	18.2	9.1

e) こんろ（ガス・電気）

	全 体	やけどした	消し忘れた	衣服に火が燃え移った	周囲の物が焦げた	調理器具（鍋やフライパン等）を落とした	その他
N	24	17	3	-	1	3	-
%	100.0	70.8	12.5	-	4.2	12.5	-

f) 電気毛布・電気カーペット

	全 体	引込んだ、つまずいた、すべった、引っかかった	やけどした	消し忘れた	周囲の物が焦げた	電源コードに足が引かなかった	製品から火が出た	その他
N	3	2	-	1	-	-	-	-
%	100.0	66.7	-	33.3	-	-	-	-

○先程、けがをして病院へ行ったとお答えになりましたが、あてはまるものをそれぞれひとつだけお選びください。同じ製品で複数の経験がある場合は、最も大きなけがをした経験についてお答えください。

a) 脚立・踏み台

	全 体	一 度 だ け 治 療	数 回 通 院 し た	入 院 し た
N	5	2	3	-
%	100.0	40.0	60.0	-

b) ベッド

	全 体	一 度 だ け 治 療	数 回 通 院 し た	入 院 し た
N	1	-	1	-
%	100.0	-	100.0	-

c) 敷物（カーペット・玄関マット・キッチンマット等）※電気カーペットを除く

	全 体	一 度 だ け 治 療	数 回 通 院 し た	入 院 し た
N	1	-	1	-
%	100.0	-	100.0	-

d) ストーブ・ヒーター

	全 体	一 度 だ け 治 療	数 回 通 院 し た	入 院 し た
N	1	1	-	-
%	100.0	100.0	-	-

e) こんろ（ガス・電気）

	全 体	一 度 だ け 治 療	数 回 通 院 し た	入 院 し た
N	2	-	2	-
%	100.0	-	100.0	-

## f) 電気毛布・電気カーペット

	全 体	一 度 だ け 治 療	数 回 通 院 し た	入 院 し た
N	1	-	-	1
%	100.0	-	-	100.0

○あなたのご自宅の設備の中で、問題がある、改善したいと感じている点がありますか。(いくつでも)

	全 体	階 段 や 廊 下 、 浴 室 に 手 す り が な い	床 や 畳 が す べ り や す い	部 屋 や 廊 下 と の 境 界 に 段 差 が あ る	浴 槽 の 高 さ が 高 く 、 入 り に く い	浴 槽 や 浴 室 の 床 が す べ り や す い	浴 室 や 脱 衣 所 が 寒 い	そ の 他	問 題 が あ る 、 改 善 し た い と 感 じ て い る 点 は な い
N	800	82	23	119	46	57	148	21	478
%	100.0	10.3	2.9	14.9	5.8	7.1	18.5	2.6	59.8

○あなたのご自宅では、以下の設備や製品、サービスを利用していますか。(いくつでも)

	全 体	段 差 を 緩 や か に す る ス ロ ー プ 板	歩 行 や 立 ち 座 り を 補 助 す る 手 す り	足 元 を 照 ら す 照 明 器 具	段 差 の ふ ち が 分 か る 目 印 (蛍 光 テ ー プ 等)	敷 物 の 下 に 敷 く 、 す べ り 止 め シ ー ト	安 全 装 置 付 き ガ ス こ ん ろ (こ ん ろ 周 り に 近 づ く と 火 を 弱 め る 等)	火 を 使 わ な い 電 気 調 理 器 (I H 調 理 器 等)	浴 室 や 脱 衣 所 の 暖 房 器 具	階 段 の す べ り 止 め	困 っ た こ と が 起 き た 際 に 連 絡 す る 見 守 り サ ー ビ ス	住 宅 の 設 備 や 製 品 の 定 期 点 検 サ ー ビ ス	そ の 他	特 に 利 用 し て い る 設 備 や 製 品 、 サ ー ビ ス は な い
N	800	37	183	159	40	151	86	159	231	115	30	77	4	291
%	100.0	4.6	22.9	19.9	5.0	18.9	10.8	19.9	28.9	14.4	3.8	9.6	0.5	36.4

○あなたはご自宅内でのけがを防ぐために、以下のことについてどの程度行っていますか。(それぞれ1つ) ※設問中に記載している製品がご自宅にない場合は、「あてはまらない」を選択してください。

a) 危ないと思う作業は、できるだけ他の人に頼んでいる。

	全 体	よくしている	ときどきしている	あまりしていない	全くしていない	あてはまらない
N	800	58	170	191	135	246
%	100.0	7.3	21.3	23.9	16.9	30.8

b) 床に物を置かないようにしている。

	全 体	よくしている	ときどきしている	あまりしていない	全くしていない	あてはまらない
N	800	211	197	202	78	112
%	100.0	26.4	24.6	25.3	9.8	14.0

c) 高いところに物を置かないようにしている。

	全 体	よくしている	ときどきしている	あまりしていない	全くしていない	あてはまらない
N	800	163	227	229	72	109
%	100.0	20.4	28.4	28.6	9.0	13.6

d) 入浴前に脱衣所や浴室を暖めている。

	全 体	よくしている	ときどきしている	あまりしていない	全くしていない	あてはまらない
N	800	171	161	188	169	111
%	100.0	21.4	20.1	23.5	21.1	13.9

e) 火を使うときは、引火しないよう服装に気をつけている。

	全 体	よく している	とき どき している	あ ま り し て い な い	全 く し て い な い	あ て は ま ら な い
N	800	174	156	241	107	122
%	100.0	21.8	19.5	30.1	13.4	15.3

f) 製品を買ったときは、取扱説明書を読んでから使用している。

	全 体	よく している	とき どき している	あ ま り し て い な い	全 く し て い な い	あ て は ま ら な い
N	800	302	249	164	32	53
%	100.0	37.8	31.1	20.5	4.0	6.6

g) 製品の使用期限や耐用年数を確認している。

	全 体	よく している	とき どき している	あ ま り し て い な い	全 く し て い な い	あ て は ま ら な い
N	800	135	232	305	70	58
%	100.0	16.9	29.0	38.1	8.8	7.3

h) 住宅設備や製品を自分や家族等が点検している。

	全 体	よく している	とき どき している	あ ま り し て い な い	全 く し て い な い	あ て は ま ら な い
N	800	106	235	283	98	78
%	100.0	13.3	29.4	35.4	12.3	9.8

i) 動ける範囲で、こまめに体を動かすようにしている。

	全 体	よく している	とき どき している	あ ま り し て い な い	全 く し て い な い	あ て は ま ら な い
N	800	321	287	132	24	36
%	100.0	40.1	35.9	16.5	3.0	4.5

j) 自分の身体の状態について、家族等に話している。

	全 体	よく している	とき どき している	あ ま り し て い な い	全 く し て い な い	あ て は ま ら な い
N	800	183	296	188	53	80
%	100.0	22.9	37.0	23.5	6.6	10.0

○同じ住宅に居住しているご家族についてお聞きします。

a) 何人で住んでいますか。(あなたも含めた全員の人数)

	全 体	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人	平 均
N	800	161	464	124	36	11	4	2.11
%	100.0	20.1	58.0	15.5	4.5	1.4	0.5	

b) どなたと一緒に住んでいますか。あなたからみてあてはまる人を、全てお選びください。(いくつでも)

	全 体	配偶者・パートナー	父親・母親	兄弟姉妹	子(子の配偶者・パートナーを含む)	孫・曾孫	その他	同居者はいない	回答しない
N	800	575	30	15	179	16	4	156	7
%	100.0	71.9	3.8	1.9	22.4	2.0	0.5	19.5	0.9

○あなたは以前と比べて、ご自身の身体について以下のことを感じますか。差し支えない範囲で教えてください。  
(いくつでも)

	全 体	小さな文字は老眼鏡がなければ見づらくなった	微妙な色の違いや濃淡が見分けづらくなった	暗い場所では物が見づらくなった	耳が遠くなり、音が聞き取りづらくなった	階段や段差の昇り降りが苦手になった	手指の力が弱くなった	重いものを持つことが苦手になった	体に痛い所があり、動かしにくくなった	すばやく動くものに反応できなくなった	においの感覚が鈍くなった	熱さ・冷たさの感覚が鈍くなった	その他	この中で特に変化を感じることはない	回答しない
N	800	492	48	327	171	192	207	278	192	237	38	14	7	104	4
%	100.0	61.5	6.0	40.9	21.4	24.0	25.9	34.8	24.0	29.6	4.8	1.8	0.9	13.0	0.5

#### 別添4 単純集計結果（消費者協会調査（アンケート））

問1 あなたは、現在の住宅にお住まいになってから、何年になりますか。住宅を建替えたり、リフォームをしたりした場合は、住宅の建替えやリフォームを行ってからの年数をお答えください。（1つに○）

	全 体	1 0 年 未 満	1 0 年 以 上 2 0 年 未 満	2 0 年 以 上 3 0 年 未 満	3 0 年 以 上	無 回 答
N	171	17	26	43	80	5
%	100.0	9.9	15.2	25.1	46.8	2.9

問2 あなたのお住まいは、次の中ではどれにあたりますか。（1つに○）

	全 体	持 家 （一戸建て）	持 家 （分譲マンション等の集合住宅）	賃 貸 住 宅 （一戸建て）	賃 貸 住 宅 （アパート、マンション、 公営・公団等の集合住宅）	そ の 他	無 回 答
N	171	163	4	1	1	0	2
%	100.0	95.3	2.3	0.6	0.6	0.0	1.2

問3 あなたは過去5年以内に、ご自宅内でけがをしそうになったこと、実際にけがをしたことはありますか。（1つに○）

	全 体	はい （経験あり）	いいえ （経験なし）	無 回 答
N	171	44	122	5
%	100.0	25.7	71.3	2.9



問4（問3で「1. はい」と答えた方にお聞きします。）

①どこで起こりましたか。（○はいくつでも）

	全 体 （問3で「はい」と回答した人）	階 段	玄 関 （勝手口を含む）	庭 （ベランダを含む）・駐 車 場	居 間 （リビング）	風 呂 場 ・脱衣所・洗面所・トイ レ	食 堂 （ダイニング）・台所（キ ッチン）	その他の自宅内の場所	廊 下
N	44	13	10	8	7	7	6	5	3
%	100.0	29.5	22.7	18.2	15.9	15.9	13.6	11.4	6.8

⑤その時、どの程度のけがをしましたか。（○はいくつでも）

	全 体 （問3で「はい」と回答した人）	けがをしそうになり、ヒヤツとした。	けがをしたが病院には行かず、 自宅で手当・処置した。	けがをして病院へ行き、一度だけ治療した。	けがをして病院へ行き、その後数回治療した。	けがをして病院へ行き、そのまま入院した。
N	44	18	16	6	8	0
%	100.0	40.9	36.4	13.6	18.2	0.0

問9 あなたの年齢（令和4年11月1日現在）

	全 体	6 5 歳 以 上 6 9 歳 以 下	7 0 歳 以 上 7 4 歳 以 下	7 5 歳 以 上
N	171	22	57	92
%	100.0	12.9	33.3	53.8

問10 性別（1つに○）

	全 体	男 性	女 性	そ の 他 ・ 回 答 し な い	無 回 答
N	171	7	162	1	1
%	100.0	4.1	94.7	0.6	0.6

問 11 同じ住宅に居住しているご家族についてお聞きします。

a) 何人で住んでいますか。(あなたも含めた全員の人数)

	全 体	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人	7 人	無 回 答
N	171	40	76	33	5	4	8	4	1
%	100.0	23.4	44.4	19.3	2.9	2.3	4.7	2.3	0.6

b) どなたと一緒に住んでいますか。あなたからみてあてはまる人を、全てお選びください。(〇はいくつでも)

	全 体	配偶者・パートナー	父親・母親	兄弟姉妹	子(子の配偶者・パートナーを含む)	孫・曾孫	その他	同居している人はいない	回答しない	無 回 答
N	171	105	9	1	56	17	1	39	0	2
%	100.0	61.4	5.3	0.6	32.7	9.9	0.6	22.8	0.0	1.2